

ご利用中のユーザー様向け

TurboCAD v26 FAQ

- * 本資料は2024年までWebに掲載していた内容をPDFに写したものです
- * 当社が提供するTurboCADサポートは終了しているため、ご質問にはお答えしかねます
- * 無断転載はご遠慮ください

1 | 製品情報

- 1.1 バージョン確認方法

2 | インストレーション

- 2.1 アップデートプログラムインストールエラー「キャビネットファイルdata1.cabのデジタル署名が無効のため、必要ファイルをインストールできません」

3 | ファイルインポート・エクスポート

- 3.1 PDF形式で保存すると白紙で出力される
- 3.2 ソリッドオブジェクトをIGES / STEPに保存できない

4 | 2D機能

- 4.1 テンプレート作成方法
- 4.2 画面ズームアウトができなくなった／画面フィットすると図面が小さくなる、または消える
- 4.3 補助線の削除
- 4.4 補助線の色変更
- 4.5 v19ならびにv2015シリーズからの範囲選択の仕様変更
- 4.6 縦書きテキスト入力方法
- 4.7 寸法線の小数点記号の変更方法

5 | 3D機能

- 5.1 スプリングの作成方法
- 5.2 パイプの作成方法
- 5.3 レンダリング中にワイヤーフレームの残像が残る
- 5.4 グラスの作成方法(ロフティング使用例)

6 | テクニック集

- 6.1 カメラ変更方法
- 6.2 いろいろな選択方法
- 6.3 拘束による相関関係の設定
- 6.4 EPSファイルを利用した3Dオブジェクトの作成例
- 6.5 アセンブリ図面作成方法

7 | その他

- 7.1 カスタマイズしたツールバーなどの保存方法
- 7.2 ボタンサイズ・フィールド幅の変更方法
- 7.3 キーボードのDeleteやTabキーが効かなくなった／メニューが英語になる
- 7.4 メニュー名の前にアイコンを表示させる方法
- 7.5 販売終了したら、TurboCADは使えなくなってしまうのか

8 | v26既知の情報

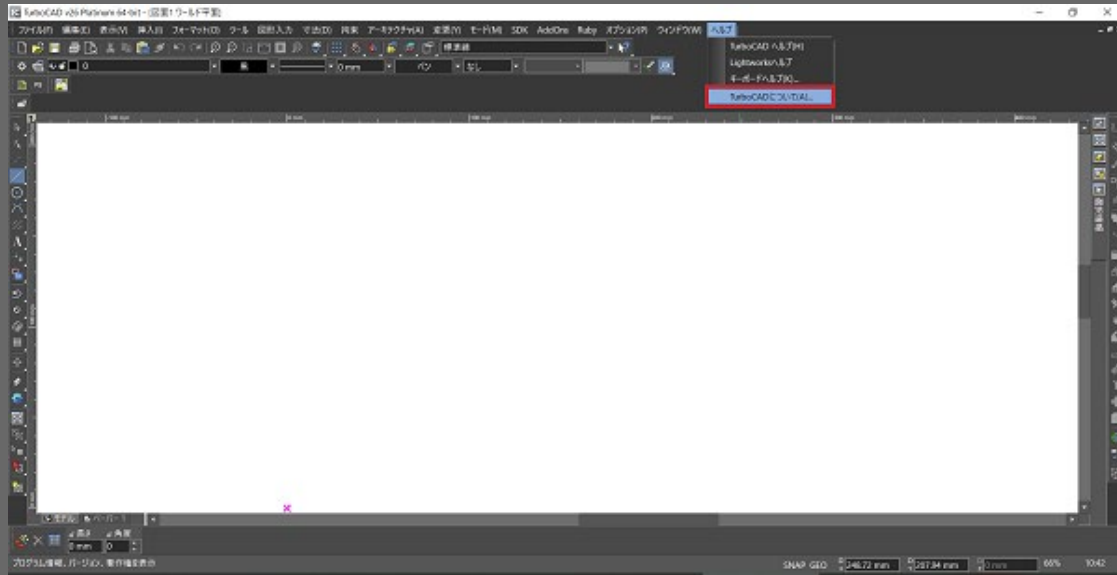
- 8.1 レイヤーマネージャでレイヤーが表示されない場合
- 8.2 非表示の光源を編集したい場合(光源を非表示にしたい場合)
- 8.3 リボンUIでの「TurboCADについて」メニュー
- 8.4 「ページ設定」メニュー選択時のダイアログについて
- 8.5 「LTE作業平面」選択時に英語メニューになった場合
- 8.6 DXF/DWGロード時のフォント
- 8.7 TurboCAD起動時「TurboCAD v26新規図面」ダイアログが表示されない場合
- 8.8 「選択コピー」メニュー読み替えのお願い
- 8.9 「エンティティマーク」メニュー 文字欠けについて
- 8.10 「点群三角測量」メニュー 読み替えのお願い
- 8.11 「マルチビューレイアウト」メニュー 読み替えのお願い
- 8.12 「作業平面に平坦化」メニューが2つ表示される
- 8.13 「スイープ」「ロフト」文字化けダイアログ 読み替えのお願い
- 8.14 「Render Manager Options」メニュー 読み替えのお願い
- 8.15 「法則カーブ」「法則サーフェス」プロパティ 読み替えのお願い
- 8.16 TurboCADヘルプ起動時に英語ヘルプに接続される場合
- 8.17 印刷関連ツールを使用すると「未処理の異常!!!」で終了する場合
- 8.18 「印刷」ダイアログの表示全体がグレーになる場合

1.1 バージョン確認方法

以下の方法でプログラムバージョン(Version)・ビルド(Build)を確認してください。

1. TurboCADを起動します。

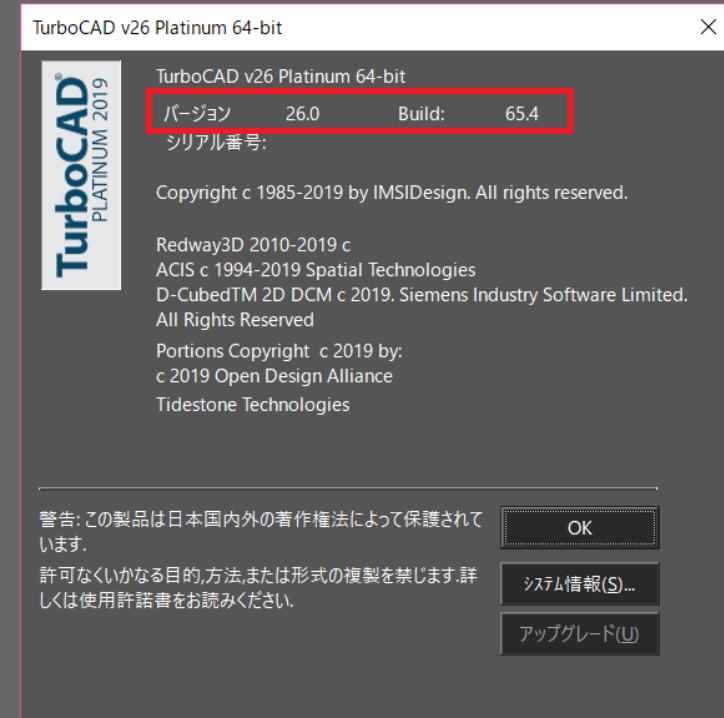
メニューバーから「ヘルプ」→「TurboCADについて」をクリックします。



※画面はTurboCAD v26 PLATINUMのものです。

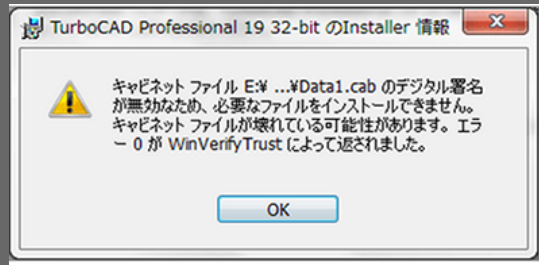
2. TurboCADのバージョンが表示されます。

Version番号とBuild番号を確認し、「OK」をクリックして表示を閉じます。



※画面はTurboCAD v26 PLATINUMのものです。
※TurboCAD v26は米国版TurboCAD2019を日本語化したものです。

2.1 アップデートプログラムインストールエラー「キャビネットファイルdata1.cabのデジタル署名が無効のため、必要ファイルをインストールできません」



アップデートプログラムインストール中にエラー「キャビネットファイルdata1.cabのデジタル署名が無効のため、必要ファイルをインストールできません。」が発生する場合、以下をお試しください。

● プログラムの修復を行う

1. インストールメディア内の Setup.exe を実行（ダブルクリック）します。
2. InstallWizard が開始しますので「プログラムの保守」画面まで進め「修復」を選択し「次へ」で進み「インストール」を開始してください。



3. 完了後、アップデートプログラムをインストールしてください。

● プログラムの再インストールを行う

1. Windowsコントロールパネルから「プログラムの削除」を開きTurboCADをアンインストールしてください。
2. 完了後、インストールメディア内の Setup.exe を実行（ダブルクリック）します。InstallWizard が開始しますので画面に従ってインストールを進めます。
3. 完了後、アップデートプログラムをインストールしてください。

※プログラムをアンインストール時に、図面ファイルや設定ファイルなどは削除されません。

3.1 PDF形式で保存すると白紙で出力される

以下の設定でPDF形式保存をお試しください。

1. 「ファイル」メニュー → 「別名で保存」をクリックします。
2. 表示されるダイアログボックスで、「ファイルの種類」を「PDF - Adobe Portable Document Format」を選び「設定」ボタンをクリックします。

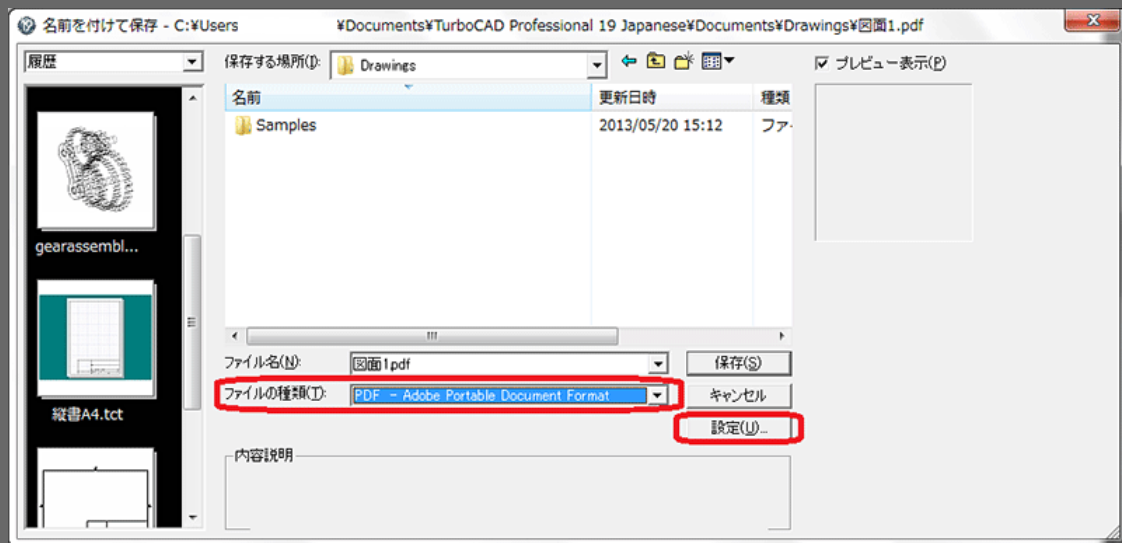


図1 ダイアログボックス

3. PDFファイルエクスポート画面で、
 - ・ 「拡大モードでズーム」のチェックを入れます。
 - ・ 「用紙幅」「用紙高さ」を出力サイズに設定します。

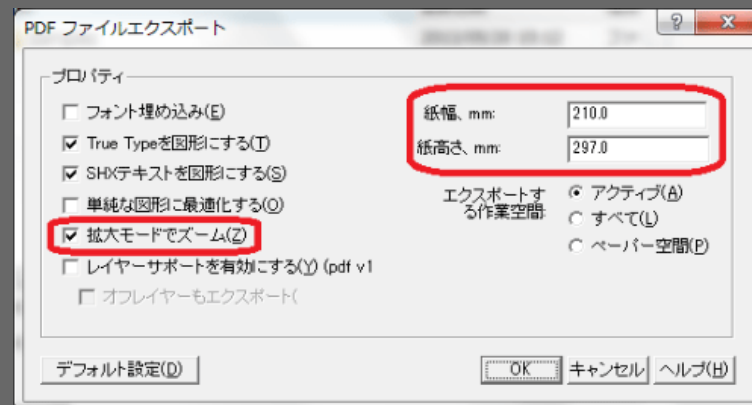


図2 「ファイルエクスポート」画面

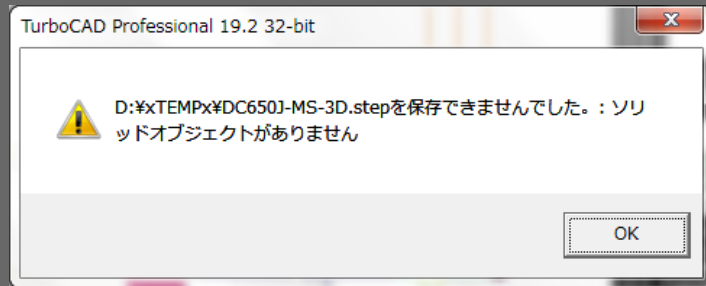
4. 「OK」ボタンをクリックします。
5. 「保存する場所」「ファイル名」を指定して「保存」ボタンを押します。

3.2 ソリッドオブジェクトを IGES / STEPに保存できない

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM

ソリッドオブジェクトのサイズの桁数・スケールが大きい場合に、以下の現象が発生します。

- IGSに保存してもソリッドオブジェクトが保存されない。
- STEPに保存する際にエラーが発生する。



以下の手順で空間単位を変更して IGES/STEP 保存を行ってください。

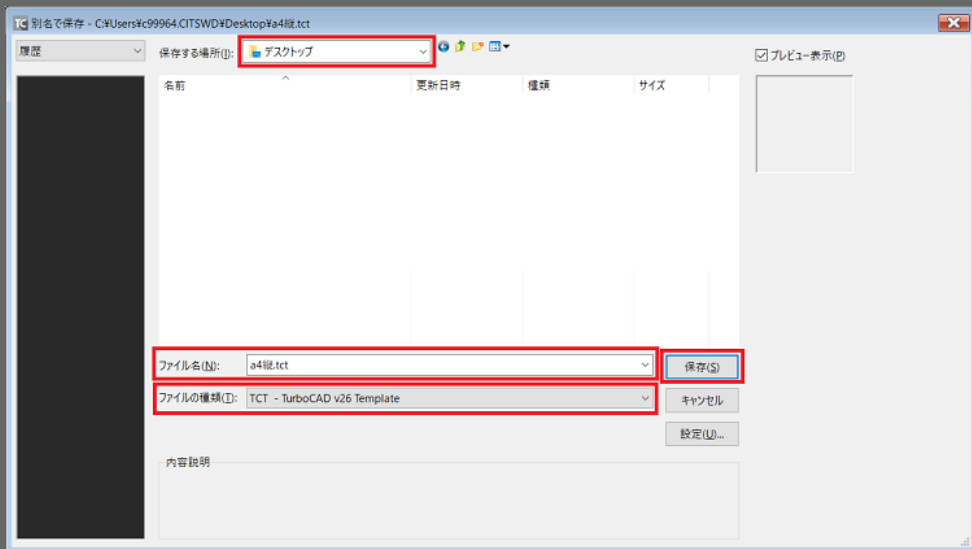
1. 「オプション」メニュー → 「空間単位」をクリックします。
2. 「単位」を「mm」から「m」に変更します。
3. 「 変更後に単位を変換」のチェックを入れます。
4. 「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。
5. IGES/STEP 保存をお試しください。

※単位を変更すると 1234.00mm は 1.234m と保存されます。

4.1 テンプレート作成方法 (1/2)

作成した図枠などをテンプレートとして利用したい場合は、以下の手順により保存を行ってください。

1. 「ファイル」メニュー → 「別名で保存」をクリックします。
2. 以下を実施し、「保存」ボタンをクリックし一旦任意の場所に保存します。
 - ・ 「保存する場所」をデスクトップなど任意のフォルダを選択
 - ・ 「ファイルの種類」は「TCT - TurboCAD v26 Template」を選択
 - ・ 「ファイル名」には「テンプレート名」を入力



3. 2で保存したファイルをインストールフォルダ内の「Template」フォルダに移動します（※）。

※インストールフォルダは製品によって異なります。

PLATINUM の場合

C:\Program Files\IMSIDesign\TCWP26\Template\Platinum\JA

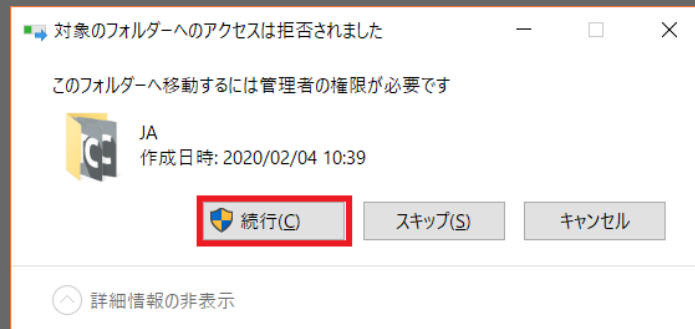
DELUXE の場合

C:\Program Files\IMSIDesign\TCW26\Template\Deluxe\JA

DESIGNER の場合

C:\Program Files\IMSIDesign\TCWD26\Template\Designer\JA

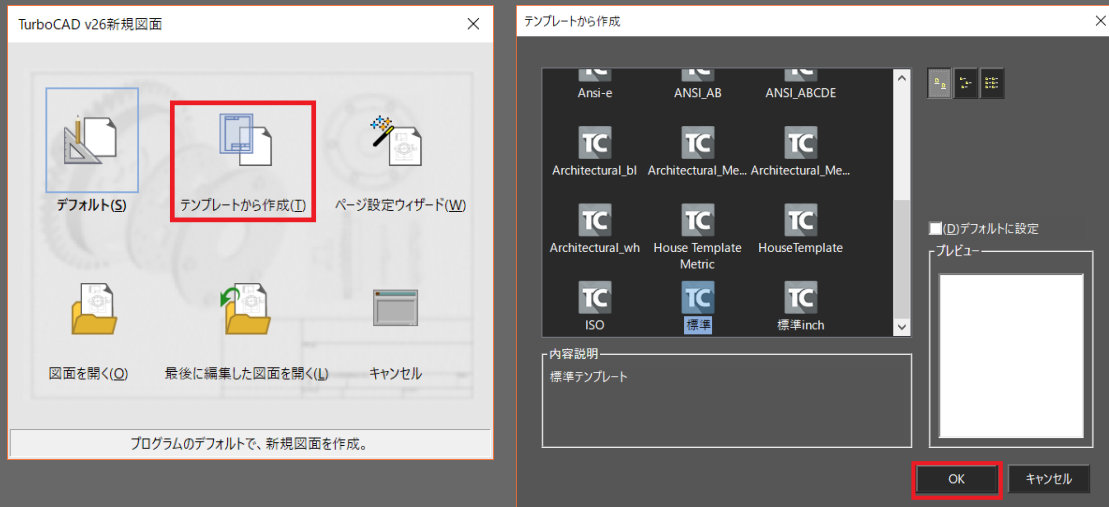
移動する際にアクセスが拒否された場合は、「続行」を選択して実行します。



以上でテンプレート図面の保存は完了です。
保存したテンプレートは次頁の方法で新規図面作成に利用できます。

4.1 テンプレート作成方法 (2/2)

- TurboCAD起動時に表示される初期画面 もしくは、「ファイル」メニュー → 「新規作成」を選択した際に表示される画面から「テンプレートから作成」を選択すると一覧が表示されますので、保存したテンプレートを選択し「開く」ボタンをクリックします。



4.2 画面ズームアウトができなくなった／画面フィットすると図面が小さくなる、または消える

小さい不要なオブジェクトが離れた位置に存在し、広範囲を図面領域として認識している場合に発生する現象です。以下いずれかの方法で図面を修正してください。

不要なオブジェクトを削除する

画面にフィットするとすべてのオブジェクトを表示しますので、表示画面から不要なオブジェクトを削除してください。

必要なオブジェクトのみを選択して新規図面に貼り付ける

(※不要なオブジェクトを見つけることができない場合)

画面に表示されている必要な部分を選択コピー（「編集」メニュー → 「コピー」）し、新規図面に貼り付け（「編集」メニュー → 「貼り付け」）してください。

画面にフィットができることを確認し、「別名で保存」を行ってから編集を続行してください。

4.3 補助線の削除

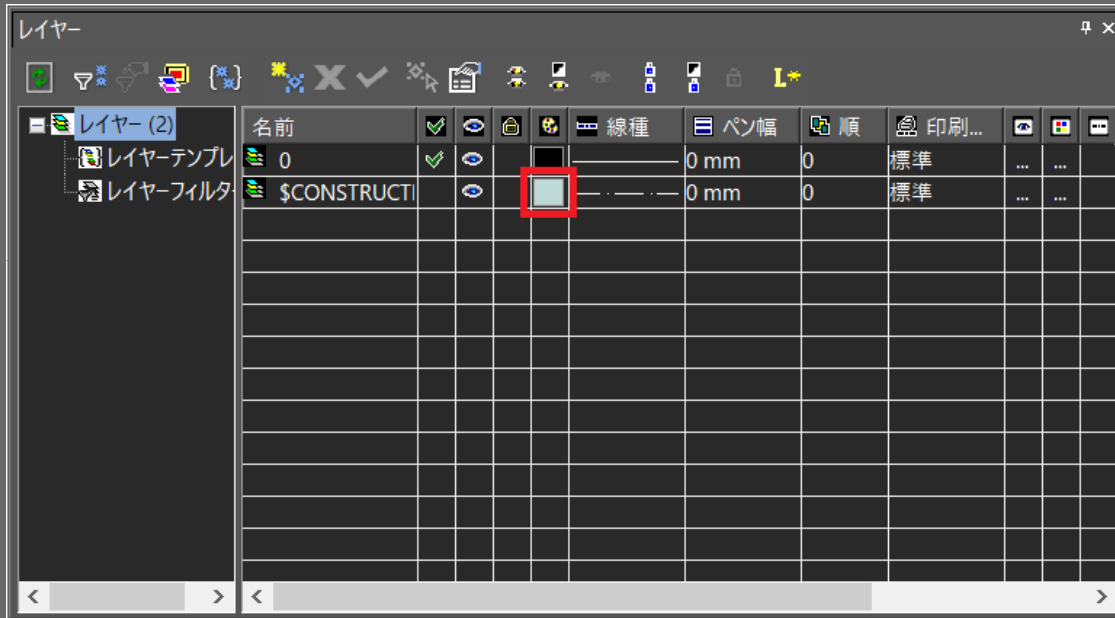
補助線の削除は「編集」メニュー → 「削除」 → 「補助線」または「すべての補助線」で行います。
選択した補助線のみ削除する場合は「補助線」、ファイル内の全補助線を削除する場合は
「すべての補助線」を実行してください。

補助線以外のオブジェクトは選択後に【Delete】キーを押すと削除できます。

4.4 補助線の色変更

補助線の色はデフォルトで「ライトブルー」の設定になっています。

補助線を任意の色に変更するには、「フォーマット」メニュー → 「レイヤー」を選択、レイヤーマネージャのレイヤー「\$CONSTRUCTION」の色ボックスをクリックしてカラーパレットから任意の色を指定してください。

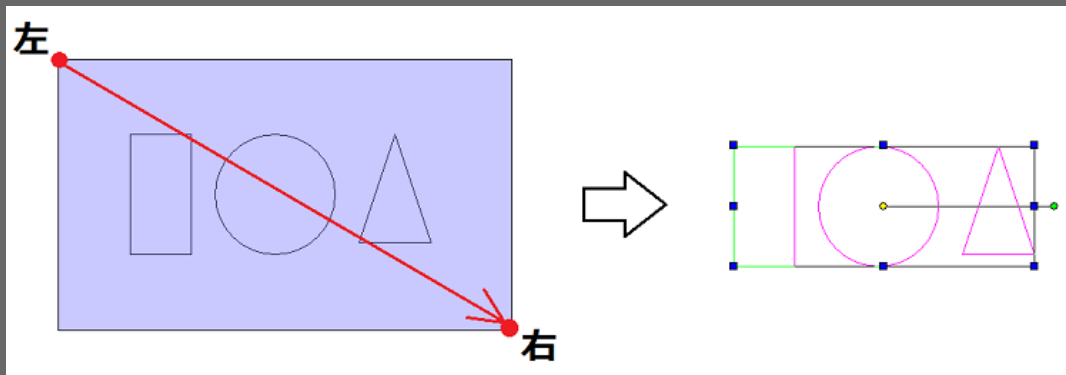


4.5 v19ならびにv2015シリーズからの範囲選択の仕様変更

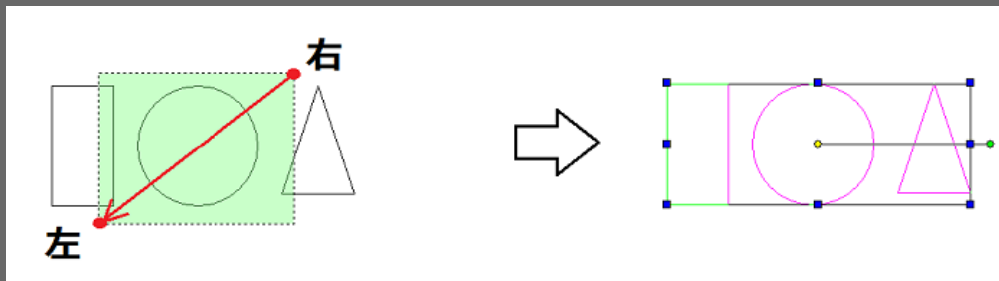
対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE
TurboCAD v26 DESIGNER

範囲選択時の仕様が以下のように変更されました。

- 左から右にドラッグ : 範囲に全てが含まれるオブジェクトのみが選択されます。



- 左から右にドラッグ : 範囲に全てが含まれるオブジェクトのみが選択されます。



4.6 縦書きテキスト入力方法

以下の手順により縦書きテキストが作成できます。

1. 「図形入力」メニュー → 「テキスト」 → 「テキスト」 をクリックします。
2. プロパティツールバーのフォントリストから、'@' 付きの日本語フォントを選択します。

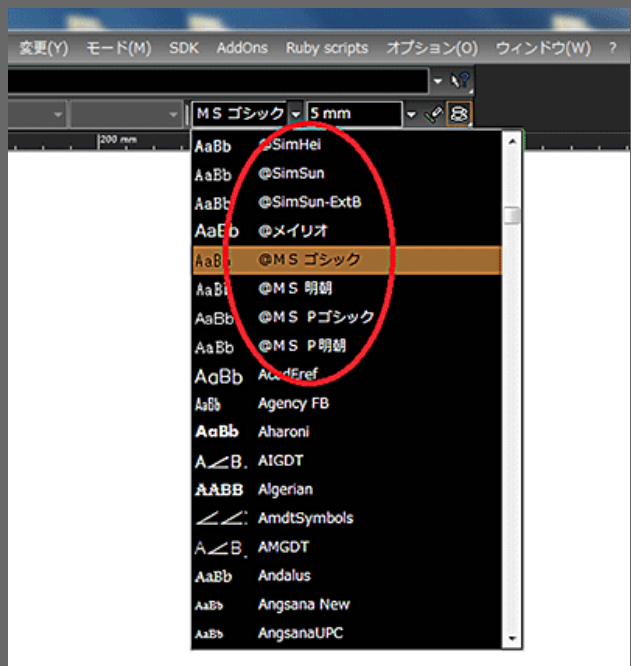


図1 フォントリスト

3. キーボードの【Tab】キーを押して、画面左下の編集バーの角度欄に「270」と入力し【Enter】キーを押します。



図2 編集バーの角度欄

4. 図面上で、テキストを入力したい位置でクリックします。
5. 日本語入力システムを起動します。
6. テキストを入力します。

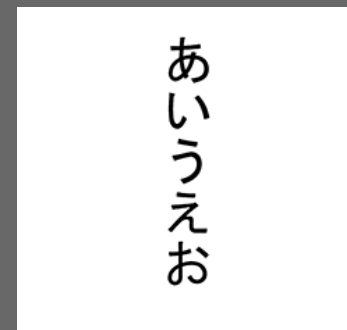


図3 テキスト入力

7. 日本語入力システムを終了します。

4.7 寸法線の小数点記号の変更方法 (1/2)

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE
TurboCAD v26 DESIGNER

寸法線の小数点カンマ(,)をピリオド(.)に設定する方法をご案内します。

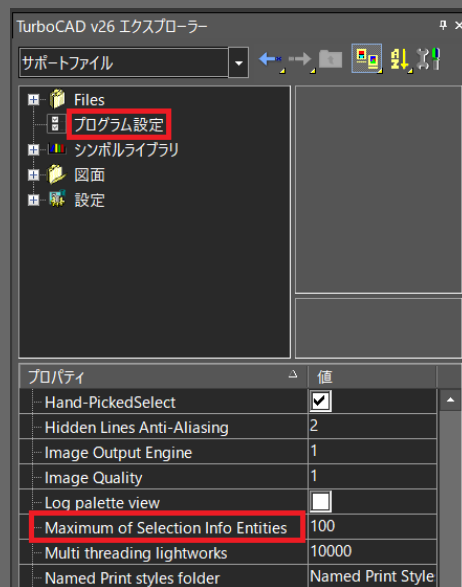
【プログラム設定変更】

- ※複数のオブジェクトを一括で設定変更するため、対象エンティティ数の値を変更します。
- ※プログラム設定変更はTurboCAD v26 DESIGNERには含まれておりません。

1. 「ツール」メニュー → 「パレット」 → 「TurboCADエクスプローラ」をクリックします。

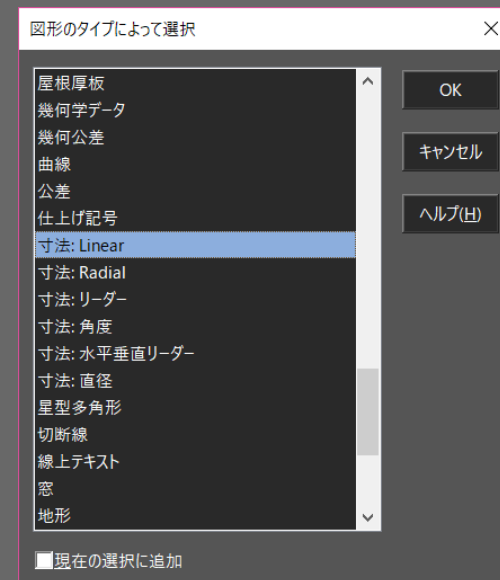
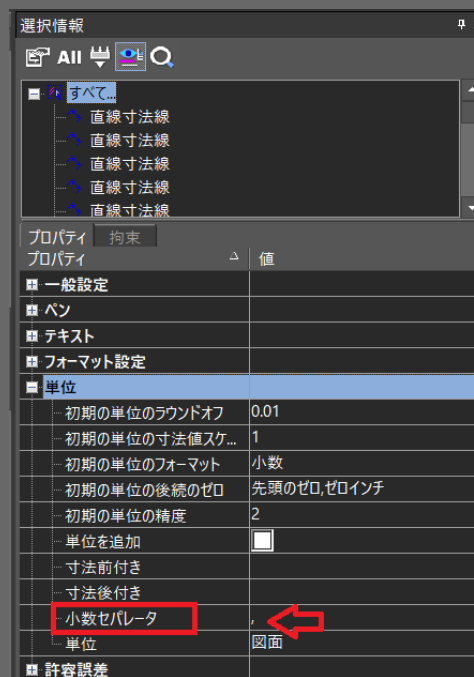
2. 「プログラム設定」の「Maximum of Selection info Entities」の値を変更します。

- この設定はデフォルトが“100”です。
- 一括変更したい寸法線の数が少ない場合には変更する必要はありません。



【小数セパレート設定変更】


- 「編集」メニュー → 「選択方法」 → 「図形タイプ」をクリックします。
- 「寸法:Liner」を選択し「OK」をクリックします。
この操作で、図面中の直線寸法線がすべて選択されます。

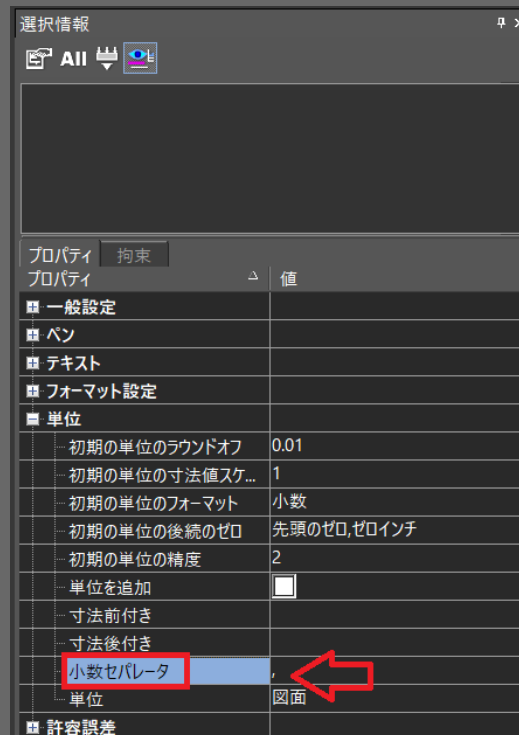


- 寸法線が選択されている状態のまま、「ツール」メニュー → 「パレット」 → 「選択情報」をクリックします。
- パレットが開きませんので、上部のウィンドウで「すべて」をクリックし、下部のウィンドウで「単位」を開きます。
- 「小数セパレータ」の値に“.”(ドット)を入力し、Enterを押すと、選択している寸法線の設定が変更されます。

4.7 寸法線の小数点記号の変更方法 (2/2)

【寸法線のデフォルト値を変更】

1. 寸法線ツールアイコン  をクリックして、選択情報パレットを開きます。
2. 下部のウィンドウで「単位」を開き、「少数セパレータ」の値に“.”(ドット)を入力し、Enterを押してください。デフォルト値が変わり、次から入力する寸法線に適用されます。



5.1 スプリングの作成方法 (1/2)

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE

以下の手順により3D形状のスプリングが作成できます。

1. スプリングのベースとなるリング形状の回転体を作成するため、スプリングの断面となる閉じられた2Dオブジェクト(円・矩形など)と回転軸用の直線を作図します。

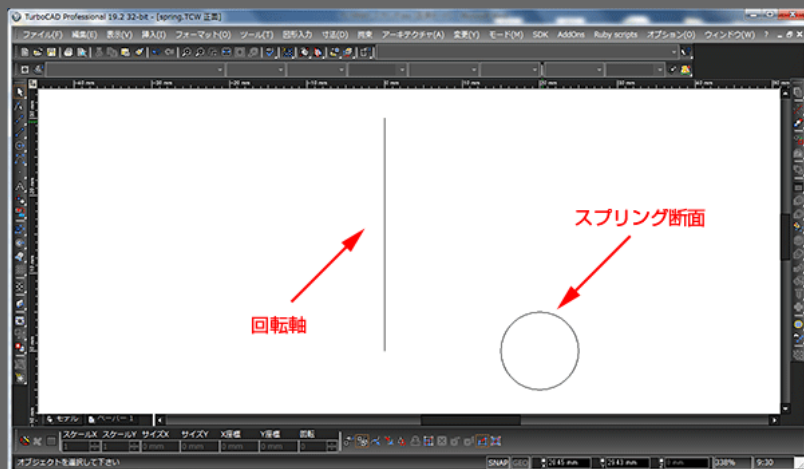


図1 回転軸用の直線を作図

2. メニューから「図形入力」→「3Dオブジェクト」→「3Dプロファイル参照」→「回転体」で3Dオブジェクトを作成します。回転される2D図形は円、回転軸は直線を指定してください。

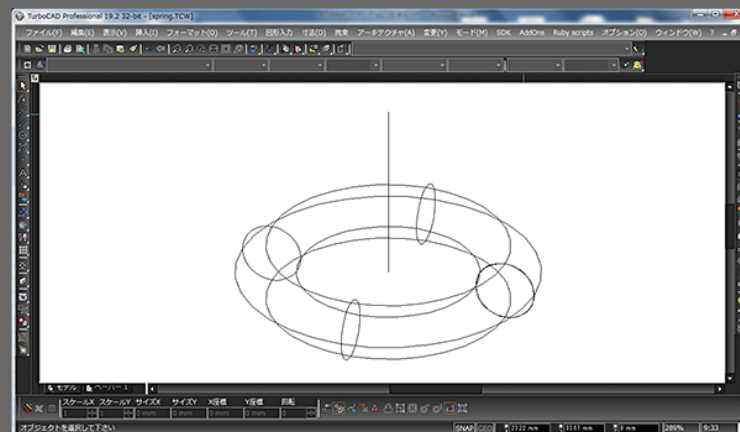


図2 3Dオブジェクトを作成

3. 2で作成した回転体を選択後右クリックして「プロパティ」を開きます。「スピン」画面の「一般オプション」-「巻き数」と「らせんピッチ」に任意の値を入力し「OK」ボタンを押します。(巻き数は回転数、らせんピッチは一巻き分の距離です)

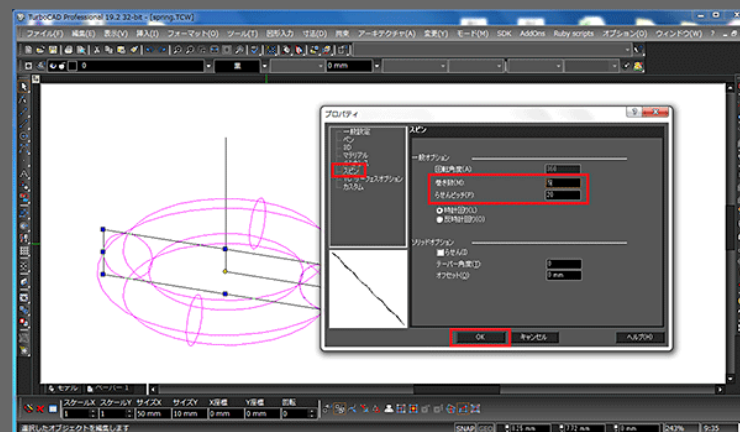


図3 「プロパティ」を開く

5.1 スプリングの作成方法 (2/2)

4. 回転体はスプリング形状となります。右側はレンダリング後の結果です。

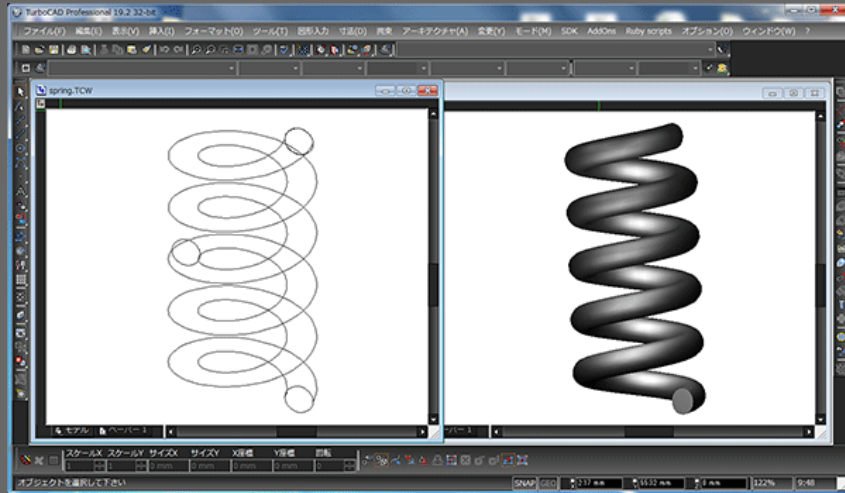


図4 レンダリング後の結果

5.2 パイプの作成方法 (1/2)

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM

2D輪郭をパスに沿って押し出すと3D形状のパイプが作成できます。

1. パイプの断面となる「2D輪郭」、パイプのルートとなる「パス」をそれぞれ1つ作成します。
この時に輪郭とパスは同一作業面に作成しても問題ありません。

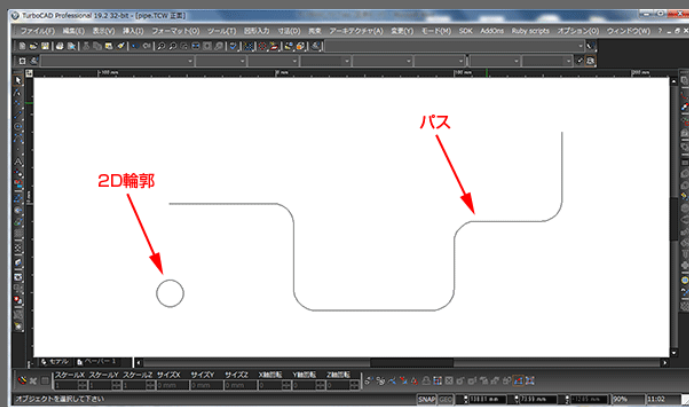


図1 回転軸用の直線を作図

2. メニューから「図形入力」→「3Dオブジェクト」→「3Dプロファイル参照」→「ルールスイープ」を実行します。スイープするための図形は円、スイープパスのための図形はパスを選択すると3Dソリッドが作成できます。

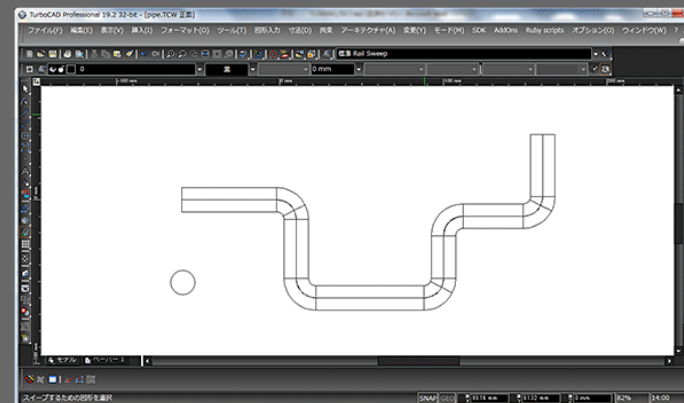


図2 「ルールスイープ」を実行

3. パイプ形状となるようにスイープをくり抜きます。
メニューから「変更」→「3Dオブジェクトの修正」→「ファセット編集」→「シェルソリッド」を実行します。
4. シェルを行うソリッド(紫色の部分)と開いた状態にする面(緑色の部分)、シェル厚みを編集バーで指定し、右クリックして「完了」をクリックします。
シェル厚みは正の値を指定すると外側、負の値を指定すると内側に作成されます。

5.2 パイプの作成方法 (2/2)

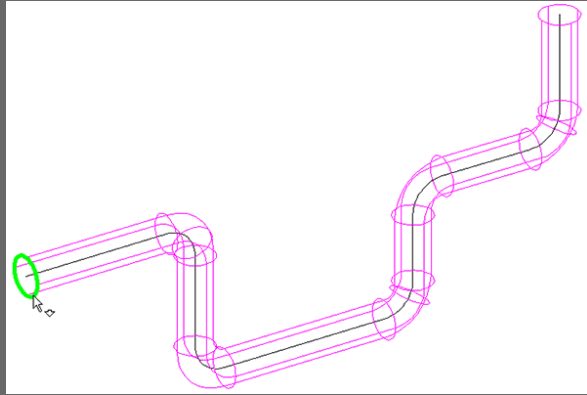


図3 シェル厚みを編集バーで指定

5. ソリッドはくり抜かれ、パイプ形状となります。

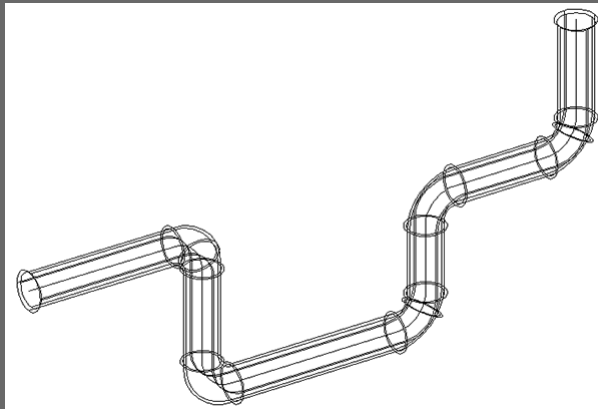
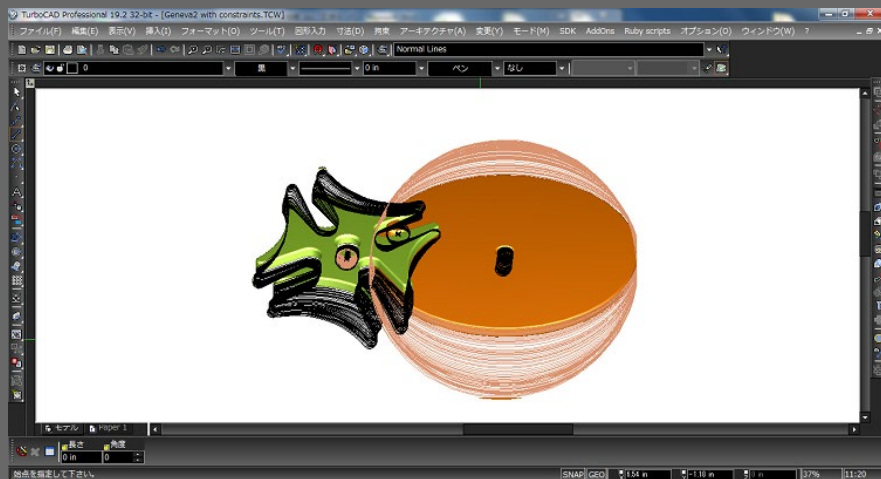


図4 パイプ形状完成

5.3 レンダリング中にワイヤーフレームの残像が残る (1/2)

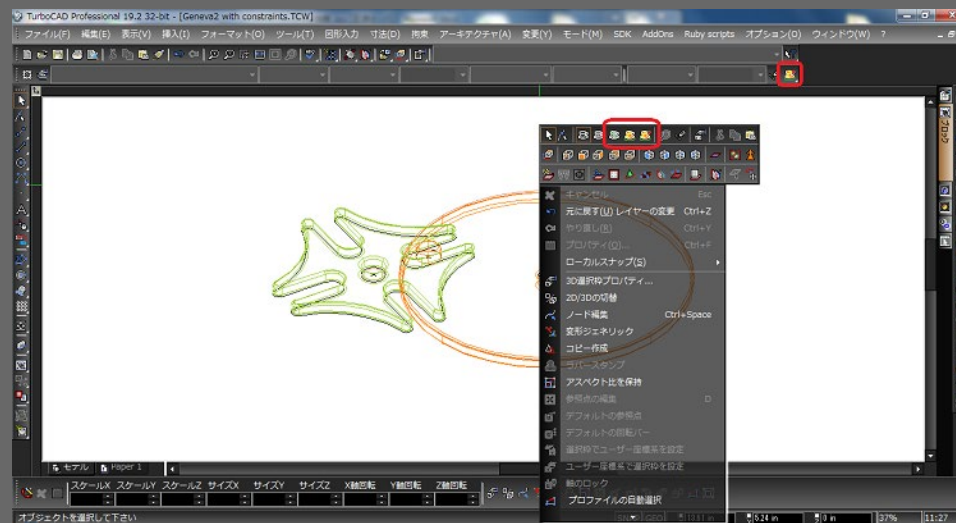
対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE



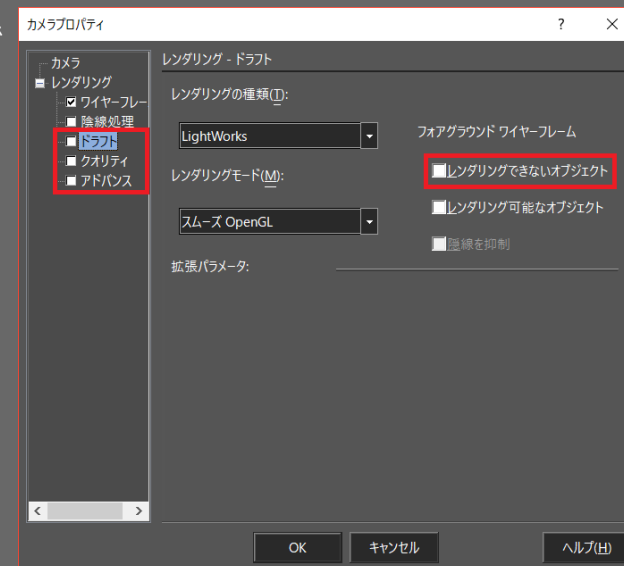
レンダリング中(ドラフト・クオリティ・アドバンス)にマウスホイールをドラッグしてダイナミック検査を実行すると上図のような残像が残ります。

回避方法は以下の通りです。

1. プロパティツールバーの右端にあるレンダリングアイコンを右クリック、または右クリックして表示されるポップアップツールバーのレンダリングアイコンを右クリックしてプロパティ画面を開きます。

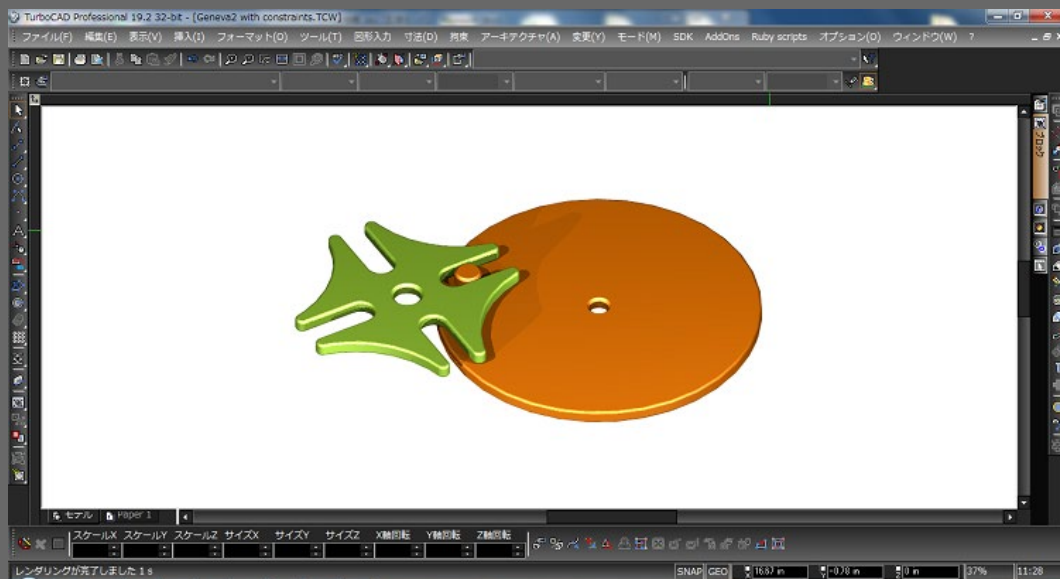


2. 各画面(ドラフト・クオリティ・アドバンス)で「フォアグラウンド ワイヤーフレーム
□レンダリングできないオブジェクト」
のチェックを外してください。



5.3 レンダリング中にワイヤーフレームの残像が残る (2/2)

3. 「OK」ボタンをクリックしてプロパティ画面を閉じます。



5.4 グラスの作成方法(ロフティング使用例) (1/3)

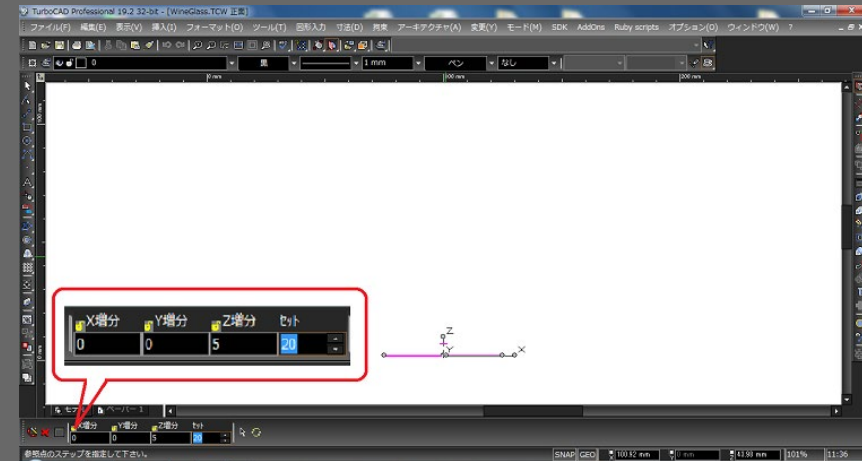
対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM

ロフティングを使って断面となる2Dオブジェクトから3Dオブジェクトを作成します。

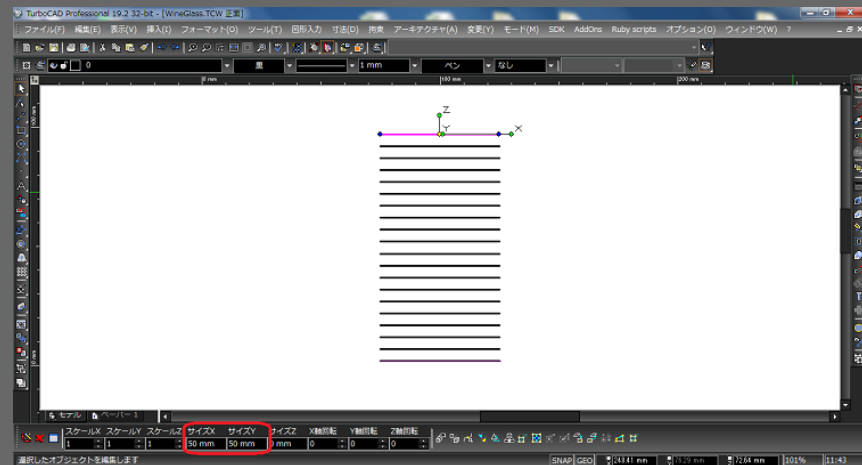
1. ロフティングの断面となる円3D選択モードで作成します。まずは基本となる円をワールド平面に作成します。



2. カメラを正面に変更します。作成した円を選択して、「変更」メニュー → 「配列コピー」 → 「直線」を実行します。「Z増分」「セット数」を指定して<Enter>キーを押して円をコピーします。



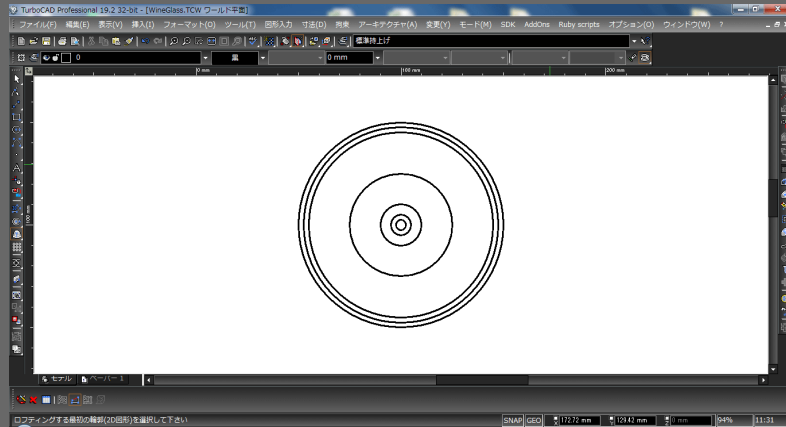
3. 不要な円を削除し、必要な円のサイズを変更します。サイズ変更は、円を選択し編集バーの「サイズX」「サイズY」に変更後の値を入力し<Enter>キーを押すとサイズが変更されます。「作業平面が変わります」と警告が表示された場合は「はい」をクリックします。



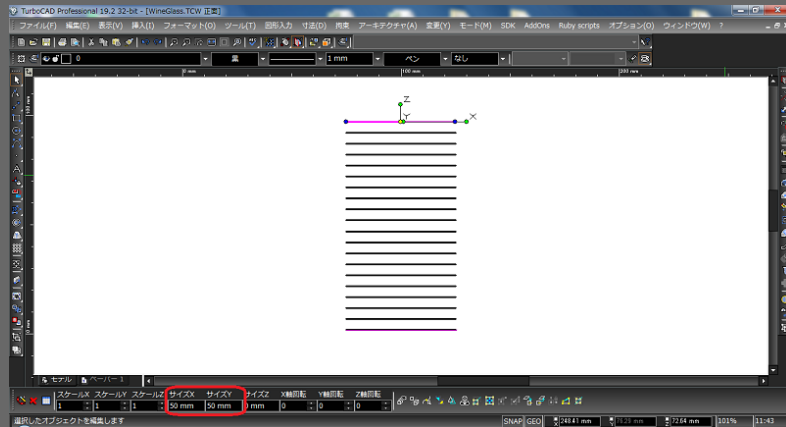
5.4 グラスの作成方法(ロフティング使用例) (2/3)

完了すると以下ようになります。

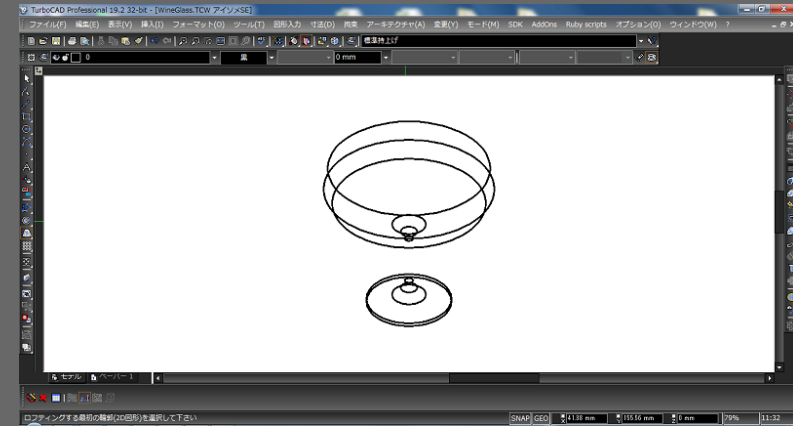
・ワールド平面



・正面

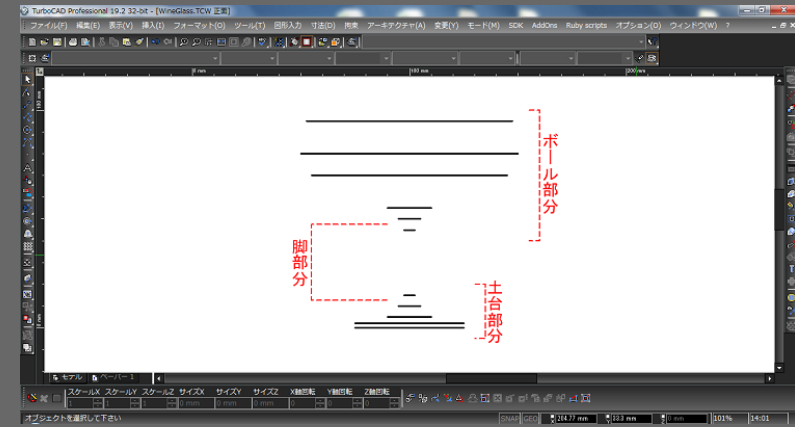


・アイソメSE



4. ボウル部分、脚部分、土台部分を分けて3Dオブジェクトを作成します。

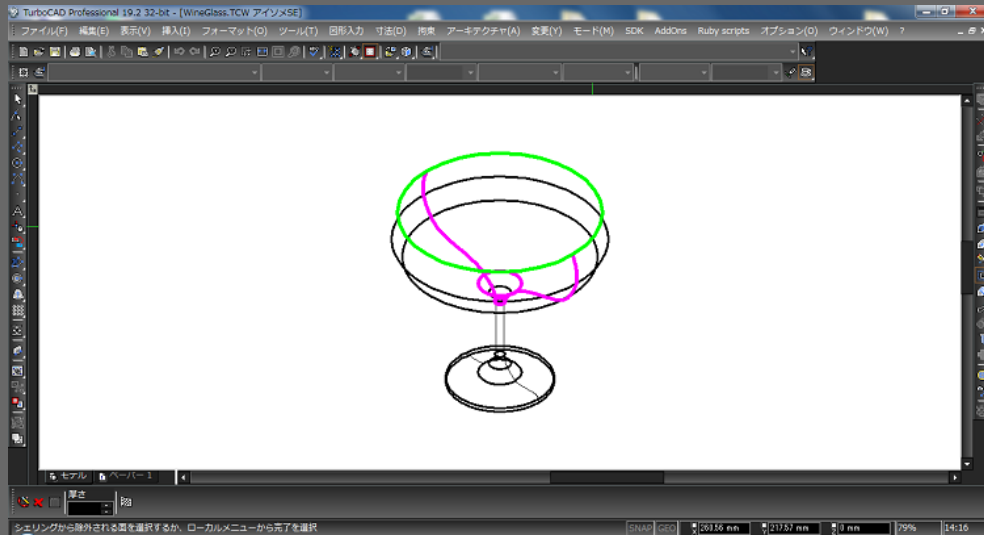
「図形入力」メニュー → 「3Dオブジェクト」 → 「3Dプロファイル参照」 → 「ロフト」 → 「ロフティング」を実行します。各部分の円を順に選択し最後は右クリックして「完了」をクリックします。



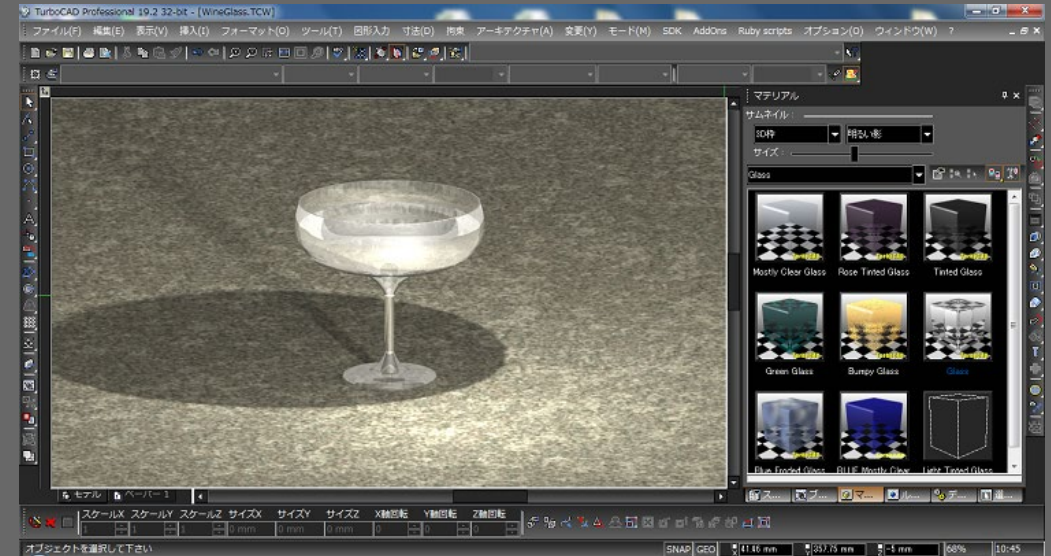
5.4 グラスの作成方法(ロフティング使用例) (3/3)

5. ボウル部分の3Dオブジェクトを、シェルソリッドを使って中身をくり抜きます。

「変更」メニュー → 「3Dオブジェクトの修正」 → 「ファセット編集」 → 「シェルソリッド」を実行します。シェルを行うソリッド(紫色の部分)と開いた状態にする面(緑色の部分)、シェル厚みを編集バーで指定し、右クリックして「完了」をクリックします。シェル厚みは正の値を指定すると外側、負の値を指定すると内側に作成されます。



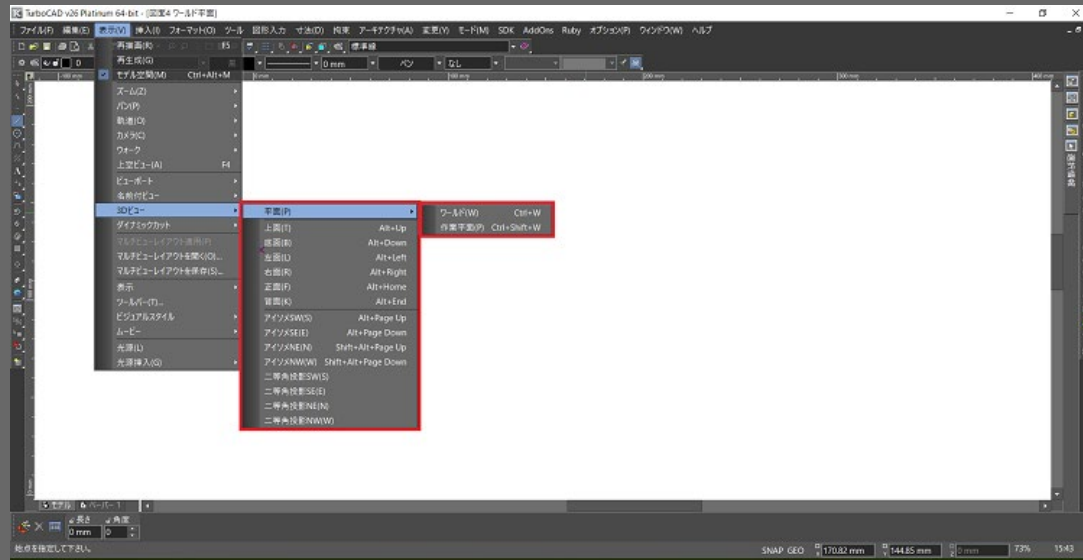
マテリアル設定後の完成図です。



6.1 カメラ変更方法

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE

カメラを変更するには、表示メニューから指定する以外に以下の方法があります。3Dオブジェクト作成時にはカメラの変更を頻繁に行いますので、操作しやすい方法をお試しください。



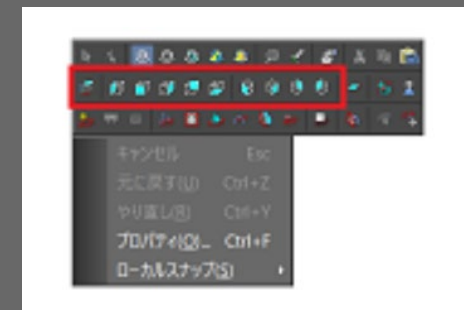
キーボードショートカットキー

あらかじめ以下のショートカットキーが設定されていますので、よく使うショートカットキーを覚えておくと便利です。

ワールド平面	【Ctrl】 + 【W】
アイソメSE	【Alt】 + 【PageDown】
アイソメSW	【Alt】 + 【PageUp】
アイソメNE	【Alt】 + 【Shift】 + 【PageUp】
アイソメNW	【Alt】 + 【Shift】 + 【PageDown】
右面	【Alt】 + 【→】
左面	【Alt】 + 【←】
上面	【Alt】 + 【↑】
底面	【Alt】 + 【↓】
正面	【Alt】 + 【Home】
背面	【Alt】 + 【End】

ポップアップツールバー

作業画面で右クリックし表示されるポップアップツールバーから指定します。



6.2 いろいろな選択方法 (1/2)

オブジェクトを選択する方法として様々なツールが用意されています。
それぞれの機能を理解して状況によって使い分けて編集作業を行ってください。

● 「編集」メニュー → 「選択」

● マウスクリック選択

通常、クリックすると一つずつオブジェクトが選択されますが、【Shift】キーを押しながらクリックすると+(プラス)/-(マイナス)選択が可能です。

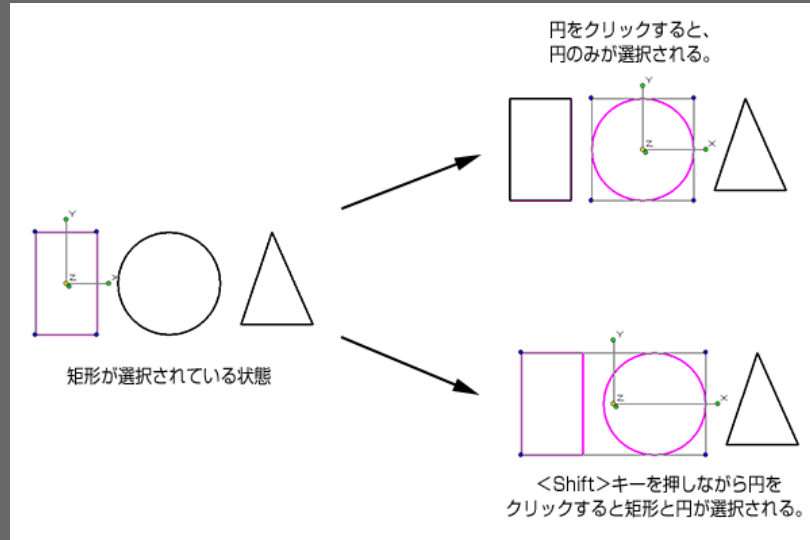


図1 マウスクリック選択

● 対角2点ドラッグ範囲指定選択

左から右側にドラッグするとドラッグ範囲に全てが含まれるオブジェクトのみが選択されます。
右から左側にドラッグするとドラッグ範囲に少しでも入っているオブジェクト全てが選択されます。

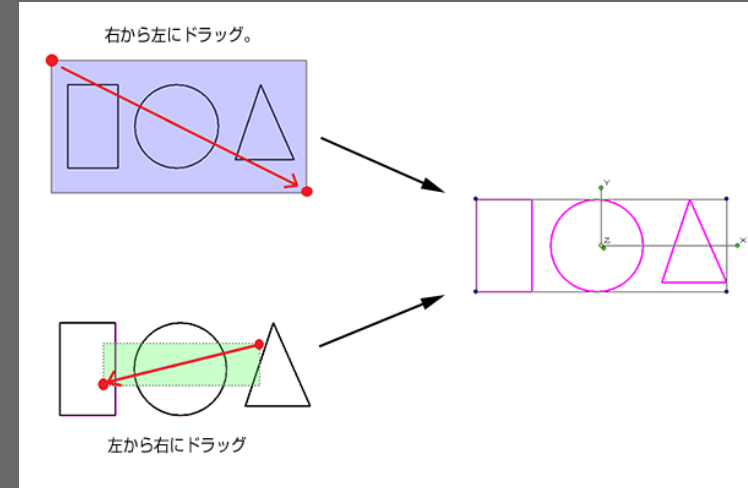


図2 対角2点ドラッグ範囲指定選択

● 「編集」メニュー → 「選択方法」 → 「基本図形のタイプ」「色」など

「寸法線だけを選択してまとめてサイズを変更したい」「全てのブロックを分解したい」「赤のオブジェクトを青に変更したい」などの場合に有効な選択方法です。

1. 「編集」メニュー → 「選択方法」 → 「基本図形のタイプ」をクリックします。
2. 表示されるリストから「寸法線 Liner」などを選択します。(【Shift】キーで範囲、【Ctrl】キーでプラス選択可)

6.2 いろいろな選択方法 (2/2)

3. 「OK」 ボタンを押すと、2.で指定したオブジェクトがすべて選択されます。

- 「編集」メニュー → 「すべて選択」

図面中のオブジェクトすべてを選択します。

- ファンクションキー 【F6】 ・ 【F7】

F6 …… 最初に作図されたオブジェクトを選択します。

F7 …… 最後に作図されたオブジェクトを選択します。

キーを連打すると作図した順にオブジェクトが選択されていきます。

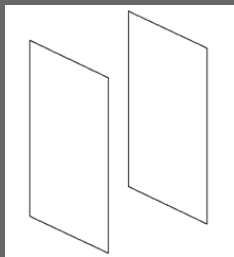
6.3 拘束による相関関係の設定

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM

拘束により「複数の図形間に相関関係を設定」することができます。

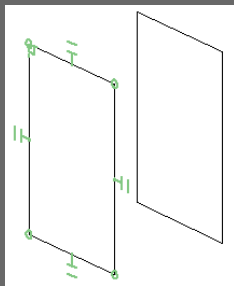
拘束を設定すると、図形に変更を加えた時に他の図形も条件に従って自動的に変更されます。例えば「図形Aと図形Bの間隔は常に同じ距離を保つ」「円Cと円弧Dの中心は同一とする」といった拘束条件を設定しておけば、後から図形の位置や大きさを変更しても常に図形AとBの距離は同じであり円と円弧の中心は同一の状態を保ちます。

1. 2つの矩形(図形)を作成します。

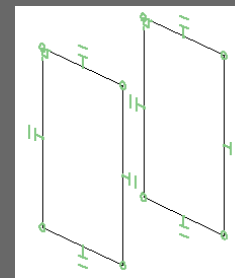


2. 矩形に拘束を追加します。

メニューから「拘束」→「自動拘束」を実行し、矩形を選択し右クリック【完了】をクリックします。一致、平行、垂直等の拘束が作成され、拘束マークが追加されます。

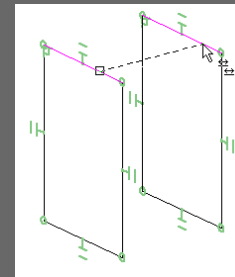


3. 別の矩形にも2の操作を実行し、拘束を追加します。

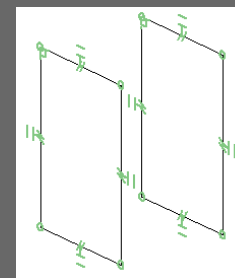


4. 相関関係を持たせるために2つの矩形に対して更に拘束を追加します。

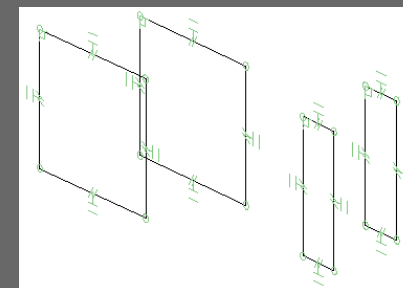
メニューから「拘束」→「同一長さ」を実行し2本の直線をクリックすると直線は後に選択した線と同じ長さになります。



5. 2つの矩形は常に同じ大きさとなるよう拘束が追加されました。



6. 相関関係が設定されたので、どちらかの矩形の長さを変更しても2つの矩形は常に同じ大きさとなります。

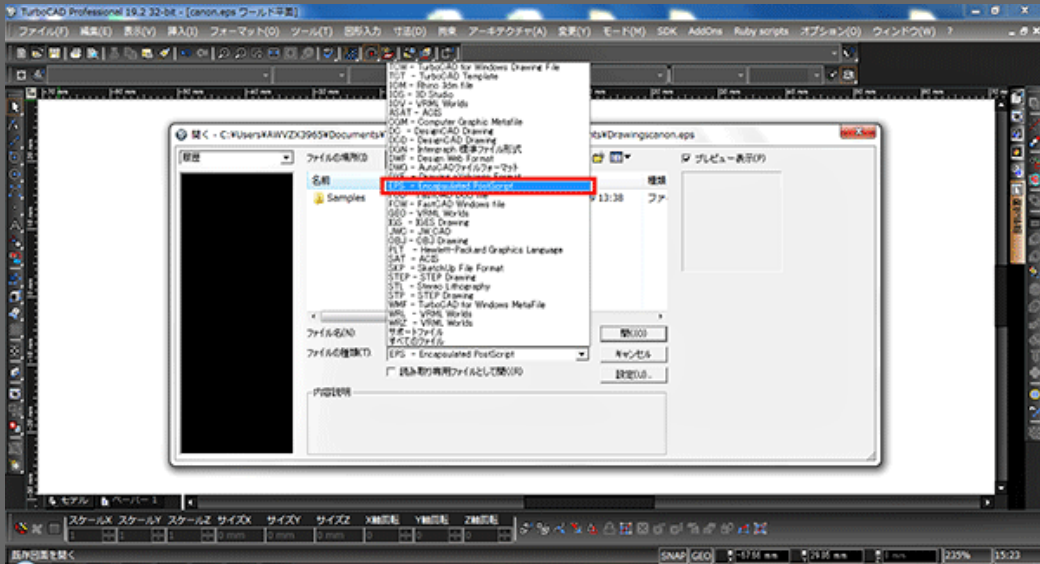


6.4 EPSファイルを利用した3Dオブジェクトの作成例（1/2）

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE

TurboCAD v26シリーズでは、画像ファイルフォーマットであるEPSの読み込みが可能です。会社ロゴなどのEPSファイルを利用して3Dオブジェクトを作成する例をご案内します。

1. EPSファイルを開きます。ファイルの種類から「EPS」を選んでファイルを開いてください。



2. 塗りつぶされていない折れ線が読み込まれる場合は、折れ線を選択して「図形入力」メニュー → 「ハッチング」 → 「ハッチングを作成」で塗りつぶしを作成します。



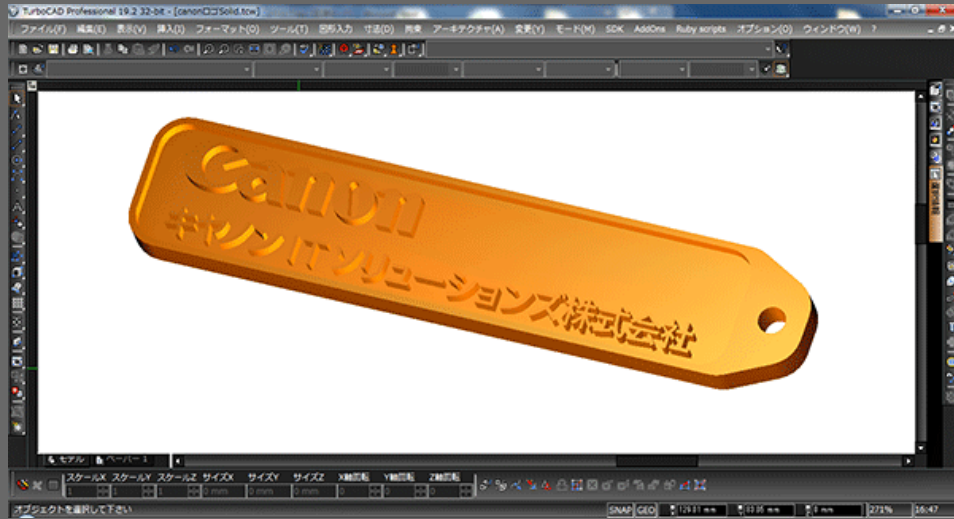
3. 「図形入力」メニュー → 「3Dオブジェクト」 → 「3Dプロファイル参照」 → 「単純押し出し」をクリックし、押し出す図形(塗りつぶし)をクリックし、編集バーで「高さ」を指定して【Enter】キーを押すと3Dオブジェクトが作成されます。



6.4 EPSファイルを利用した3Dオブジェクトの作成例（2/2）

【参考】

3Dオブジェクトとなったロゴを利用してネームプレートなども簡単に作成できます。

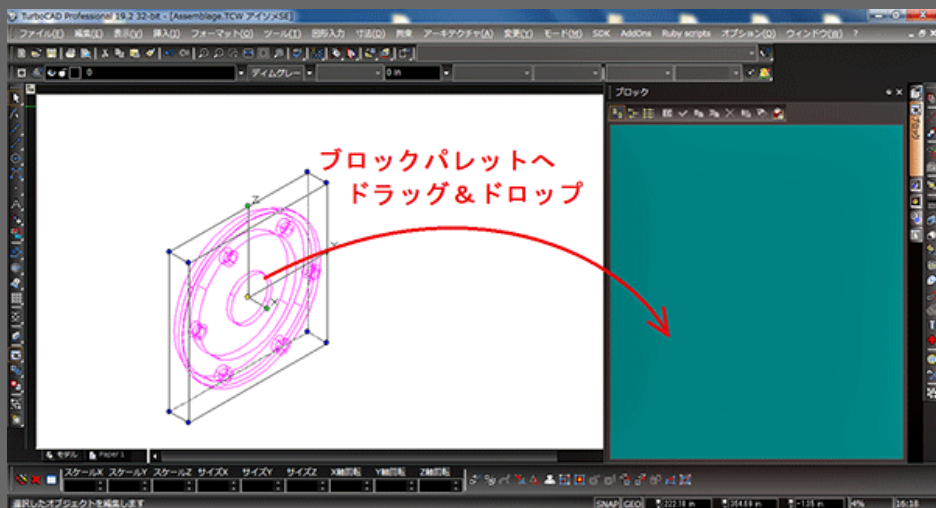


6.5 アセンブリ図面作成方法

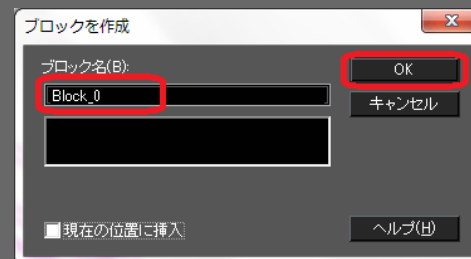
対象アセンブリ図面を作成する方法として、TurboCADには部品を登録できるブロック機能が搭載されています。

ブロックの使用方法は以下の通りです。

1. 部品となるオブジェクトを作成します。
2. 「ツール」メニュー → 「パレット」 → 「ブロック」をクリックしてブロックパレットを開きます。
3. 作成した部品を選択して、ブロックパレットにドラッグ&ドロップします。



4. ブロックを作成画面で、ブロック名を指定して「OK」をクリックすると、ブロックパレットにアイコンが登録されます。



5. 登録したブロックを挿入するには、ブロックパレットからアイコンを作業画面上にドラッグ&ドロップします。



また、既に作成した部品ファイルが存在する場合は「挿入」メニュー → 「外部参照を作成」にて、ブロック登録することも可能です。

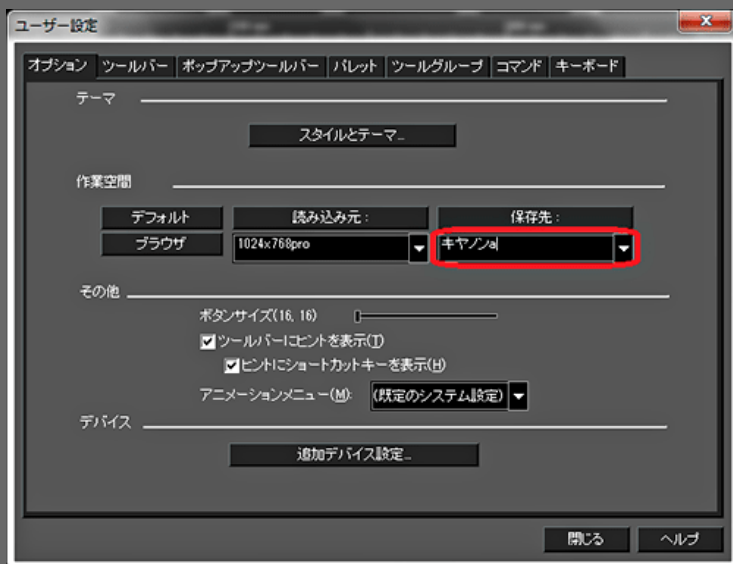
ご注意:

ブロック挿入時には、基点は参照点(中心の黄色い丸)となります。
ブロックを挿入した後に、正確な位置に移動していただくか、3Dオブジェクトの場合は3D組立ツール(「変更」メニュー → 「3Dオブジェクトの修正」 → 「3D組立」)を使って組立てください。

7.1 カスタマイズしたツールバーなどの保存方法

カスタマイズしたツールバーやパレット等の保存方法は以下の通りです。

1. 「ツール」メニュー → 「作業空間」 → 「カスタマイズ」をクリックします。
2. 「作業空間」 - 「保存先」の下にあるリストをクリックして任意の名前を入力します。



3. リスト上部の「保存先」ボタンをクリックします。
4. 「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じます。

保存した設定を読み込む際は、「読み込み元」のプルダウンリストから保存した設定を選択し「読み込み元」をクリックします。



保存した設定ファイルは以下のフォルダに2種類の形式(*.xcfg *.xml)で保存されます。

● Windows 7の場合

⇒ C:\Users\%(ユーザー名)\Documents\%(TurboCADフォルダ)\Document\Config

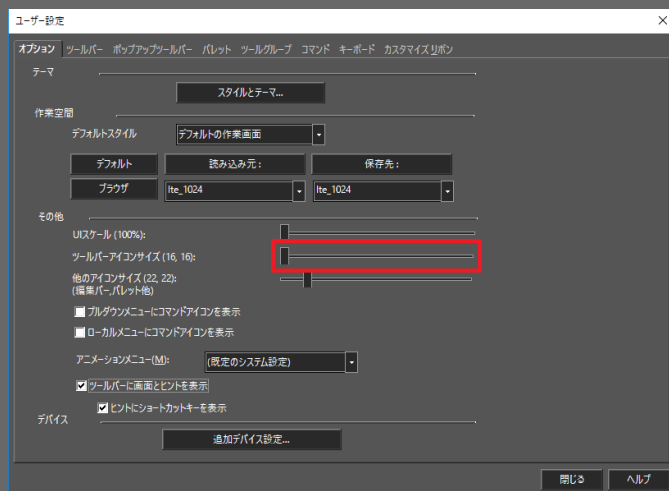
7.2 ボタンサイズ・フィールド幅の変更方法

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE
TurboCAD v26 DESIGNER

画面上のボタンサイズや、編集バーのフィールド幅を変更する方法をご案内します。

ボタンサイズの変更方法

1. 「ツール」メニュー → 「作業空間」 → 「カスタマイズ」をクリックしてユーザ設定画面を開きます。
2. 「その他」の「ツールバーアイコンサイズ」のスライダーを右側に移動します。



3. 「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じます。

フィールド幅の変更方法

1. 「オプション」メニュー → 「デスクトップ」をクリックしてプログラム設定画面を開きます。
2. 「編集バー」のフィールド幅の値を変更してください。



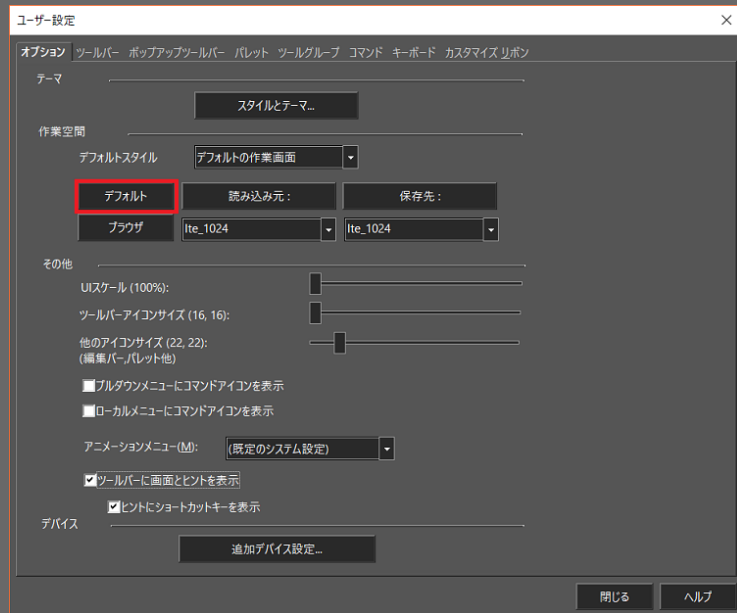
3. 「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。

7.3 キーボードのDeleteやTabキーが効かなくなった／メニューが英語になる

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM

Deleteキー（削除）や Tabキー（編集バーに移動）が効かなくなった場合、または「ユーザー設定」ダイアログで「読み込み元」ボタンを押した後、メニューが英語になった場合は、以下の手順でカスタマイズ設定をリセットしてください。

1. 「ツール」メニュー → 「作業空間」 → 「カスタマイズ」をクリックしてユーザ設定画面を開きます。
2. 「作業空間」の「デフォルト」をクリックします。



3. 「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じます。

● ご注意

カスタマイズ設定をリセットすることで、ツールバーなどキーボード以外の設定もリセットします。ツールバーなどをカスタマイズする場合は、[7.1 カスタマイズしたツールバー等の保存方法](#)の手順にて設定を保存してご利用ください。

7.4 メニュー名の前にアイコンを表示させる方法

メニュー名の前にアイコンを表示させる方法は以下の通りです。

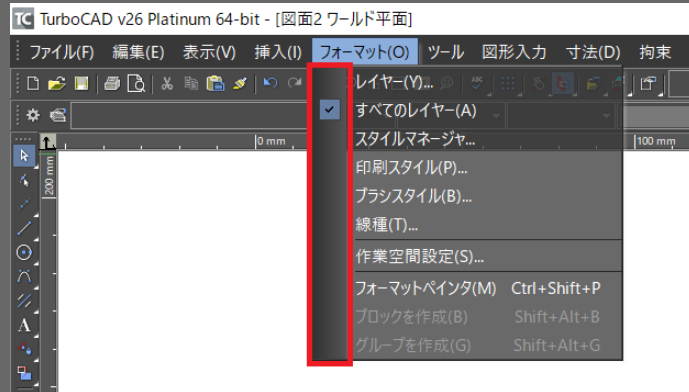


図1 メニュー名の前にアイコンなし

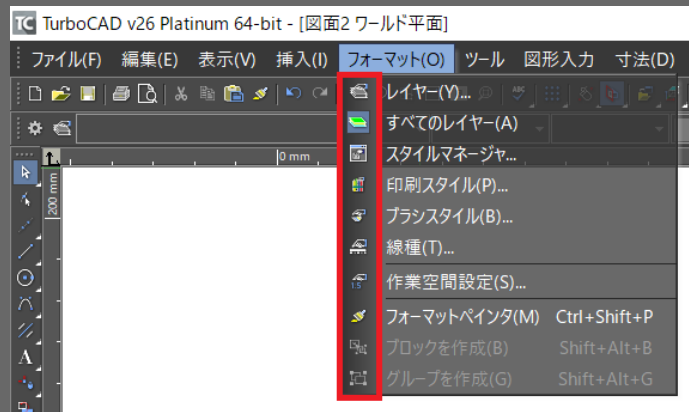
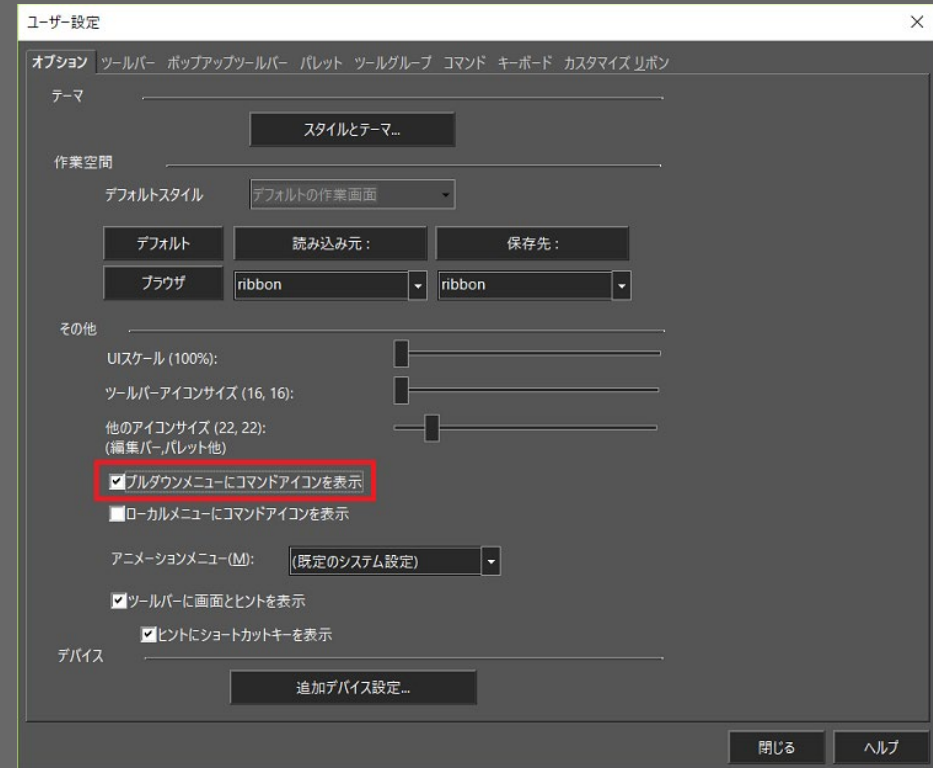


図2 メニュー名の前にアイコンあり

1. 「ツール」メニュー → 「作業空間」 → 「カスタマイズ」をクリックします。
2. 「プルダウンメニューにコマンドアイコンを表示」のチェックを入れます。



3. 「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じます。

7.5 販売終了したら、TurboCADは使えなくなってしまうのか

当社から販売終了をしても継続してTurboCADをご使用いただけます。

また、シリアル番号やインストールガイドをなくされても、そのままTurboCADをご使用いただけます。(シリアル番号やインストールガイドの再発行はいたしかねますのでご了承ください)

尚、TurboCADはWindows10までであり、Windows11に対応しておりませんので、何卒、ご理解賜りますようお願いいたします。

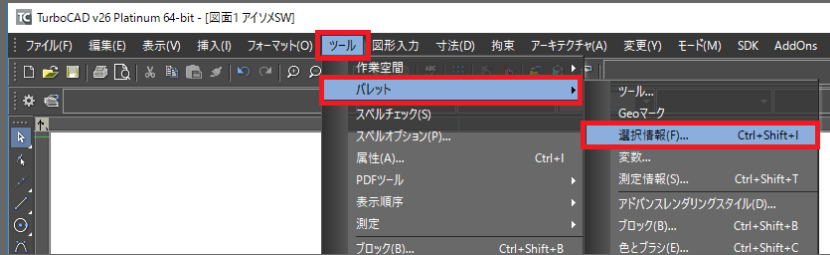
稼働環境については関連資料のPDFをご参照ください。

8.1 レイヤーマネージャでレイヤーが表示されない場合 (1/3)

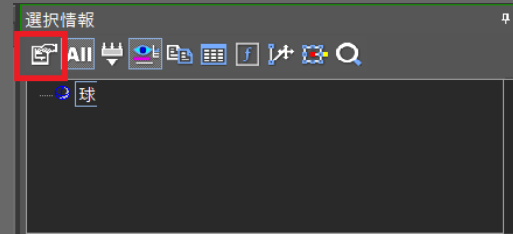
対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE

レイヤーマネージャにレイヤーが表示されない場合、下記の手順を行ってください。

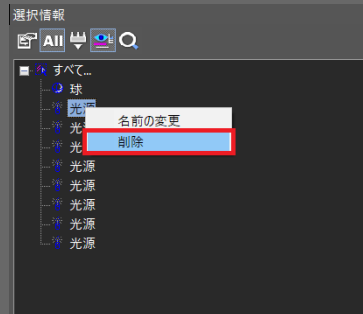
1. メニューバーから「ツール」→「パレット」→「選択情報」をクリックします。



2. 選択情報パレットで、「All」をクリックします。



3. 表示される「光源」を右クリック「削除」を選択します。(繰り返し操作して、全ての光源を削除します。)

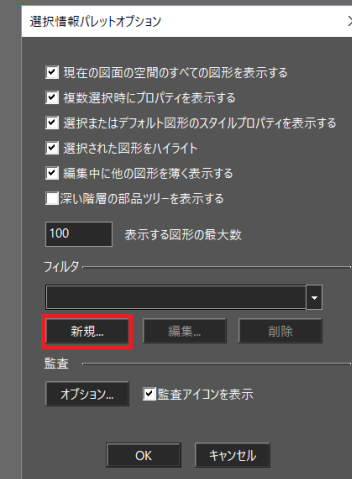


4. ファイルを保存します。

5. ファイルを開きなおします。

※ 手順2で「光源」が表示されない場合は以下をご確認ください。

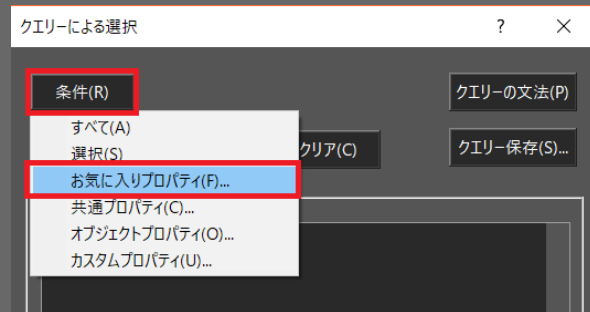
1. 選択情報パレットの「オプション」(パレット上部左端のアイコン) をクリックします。



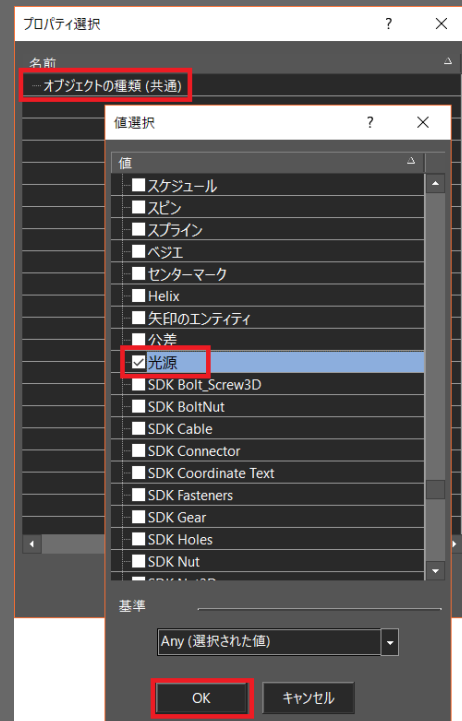
2. 「フィルタ」→「新規」をクリックします。

8.1 レイヤーマネージャでレイヤーが表示されない場合 (2/3)

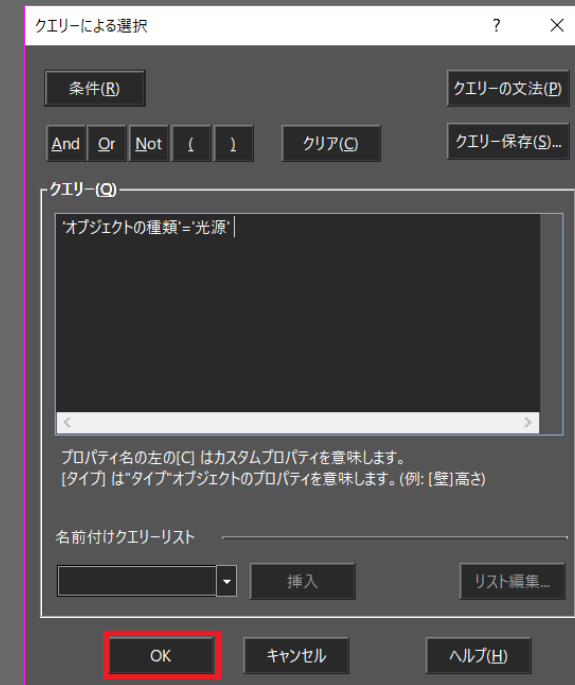
3. 「条件」 → 「お気に入りプロパティ」 をクリックします。



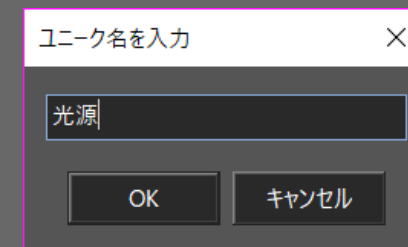
4. 「オブジェクトの種類 (共通)」 をクリックして開く画面で「光源」にチェックを入れて「OK」をクリックします。



5. 「クエリー」に「オブジェクトの種類」 = 「光源」 が追加されますので「OK」をクリックします。

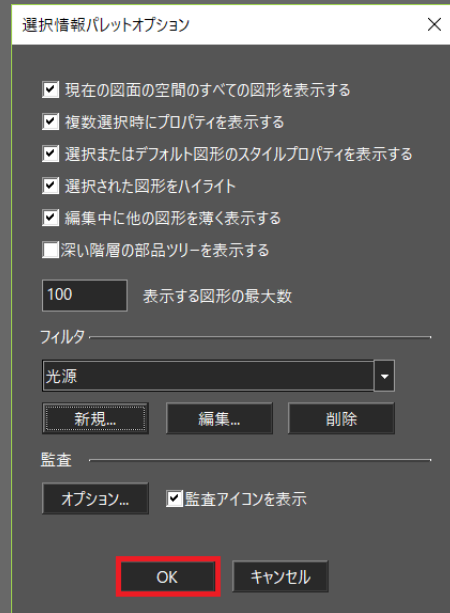


6. フィルター名として、光源 などを入力し「OK」をクリックします。



8.1 レイヤーマネージャでレイヤーが表示されない場合 (3/3)

7. 選択情報パレットオプションは「OK」をクリックします。



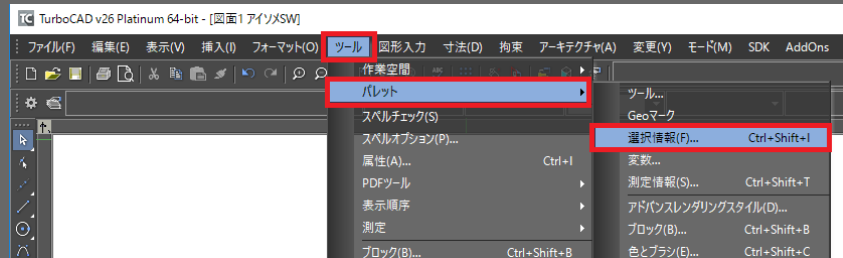
8. 選択情報パレットの「フィルタ」(左端から3つ目のアイコン) をクリックしプルダウンリストから「光源」をクリックします。

8.2 非表示の光源を編集したい場合(光源を非表示にしたい場合) (1/3)

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE

画面に表示されていない光源を編集する場合は、下記の手順で行ってください。

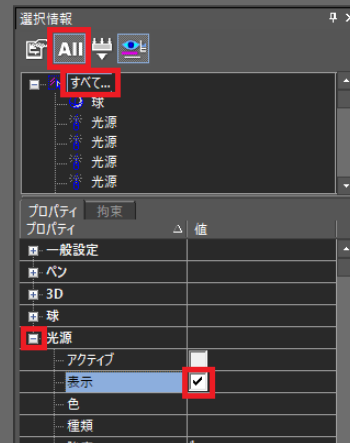
1. メニューバーから「ツール」→「パレット」→「選択情報」をクリックします。



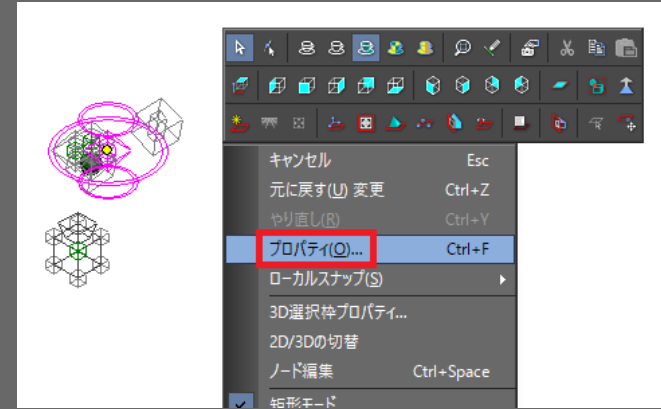
2. 選択情報パレットで、「All」と「すべて」をクリックします。

3. プロパティに表示される「光源」の+をクリックして展開し、「表示」のチェックボックスにチェックを入れます。

※ 光源を非表示にしたい場合はチェックを外してください。

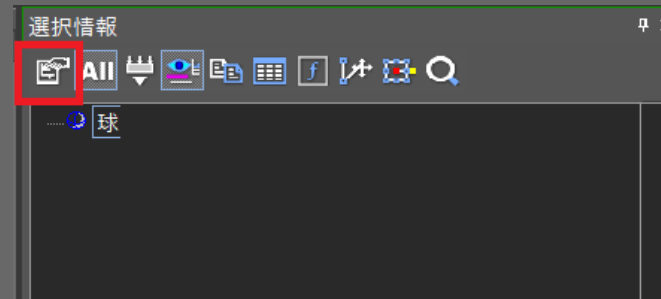


4. 作業領域に表示された光源の中から編集したい光源を選択し、右クリックメニュー → 「プロパティ」でプロパティ画面を表示して編集します。



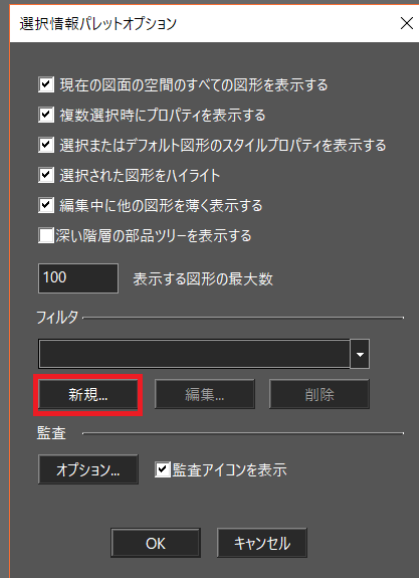
※ 手順2で「光源」が表示されない場合は以下をご確認ください。

1. 選択情報パレットの「オプション」(パレット上部左端のアイコン) をクリックします。

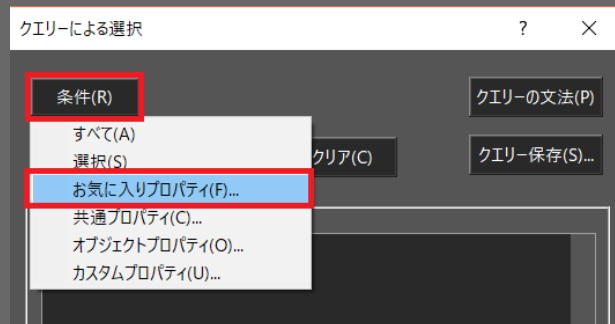


8.2 非表示の光源を編集したい場合(光源を非表示にしたい場合) (2/3)

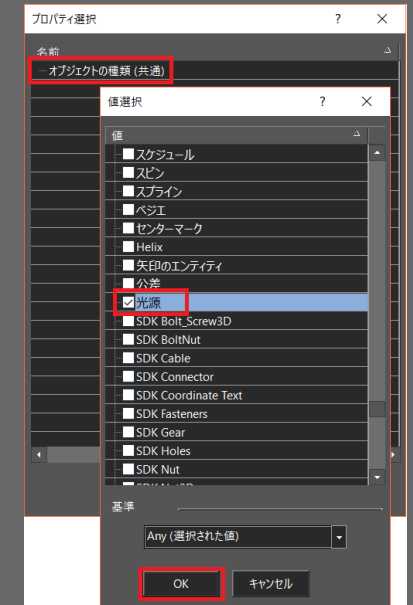
2. 「フィルタ」→「新規」をクリックします。



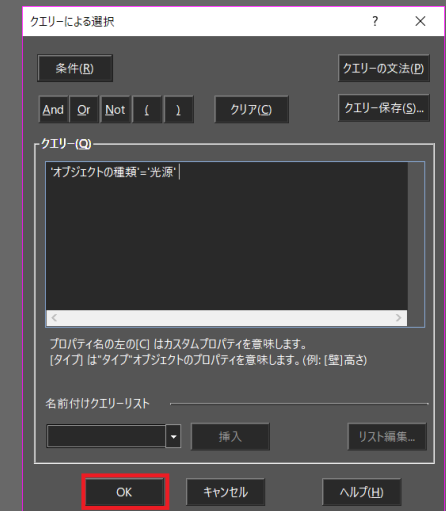
3. 「条件」→「お気に入りプロパティ」をクリックします。



4. 「オブジェクトの種類 (共通)」をクリックして開く画面で「光源」にチェックを入れて「OK」をクリックします。

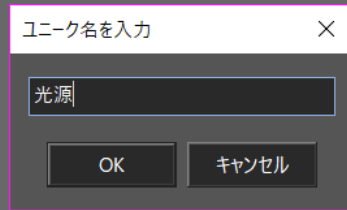


5. 「クエリー」に「オブジェクトの種類」=「光源」が追加されますので「OK」をクリックします。

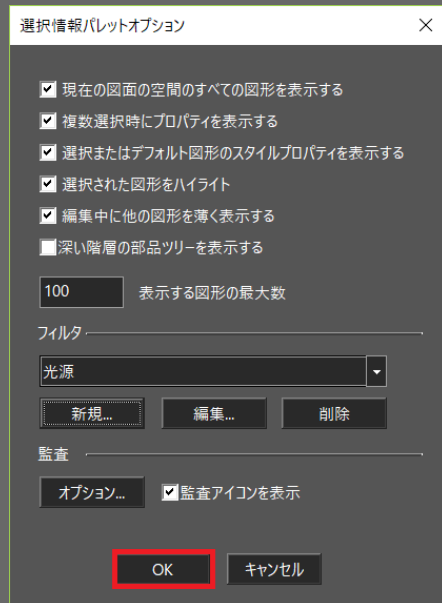


8.2 非表示の光源を編集したい場合(光源を非表示にしたい場合) (3/3)

6. フィルター名として、光源 などを入力し「OK」をクリックします。



7. 選択情報パレットオプションは「OK」をクリックします。



8. 選択情報パレットの「フィルタ」(左端から3つ目のアイコン) をクリックしプルダウンリストから「光源」をクリックします。

8.3 リボンUIでの「TurboCADについて」メニュー

対象製品/バージョン : [TurboCAD v26 PLATINUM](#)
[TurboCAD v26 DELUXE](#)

下図のようにリボンUIの際、「ヘルプ」→「TurboCADについて」のメニューを選択しても製品情報を確認することができません。



プログラムバージョンやビルド番号を確認したい場合には、お手数ですがデフォルトUIに変更して確認してください。

● デフォルトUIへ戻す方法

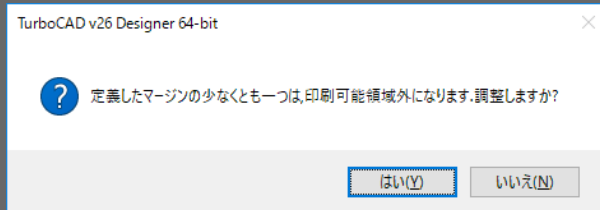
1. 「ツール」メニュー → 「作業空間」 → 「カスタマイズ」をクリックします。
2. 「オプション」タブより、「デフォルト」ボタンをクリックします。

※ [バージョン確認方法](#) はこちらから

8.4 「ページ設定」メニュー選択時のダイアログについて

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 DESIGNER

「ファイル」→「ページ設定」を選択した際に下図のダイアログが表示された場合、「はい」「いいえ」の動作は以下になります。



● 「はい」選択時

レイアウト画面で余白が設定されます。

この余白は「プリンタから余白を取得」ボタンを選択した状態になります。

● 「いいえ」選択時

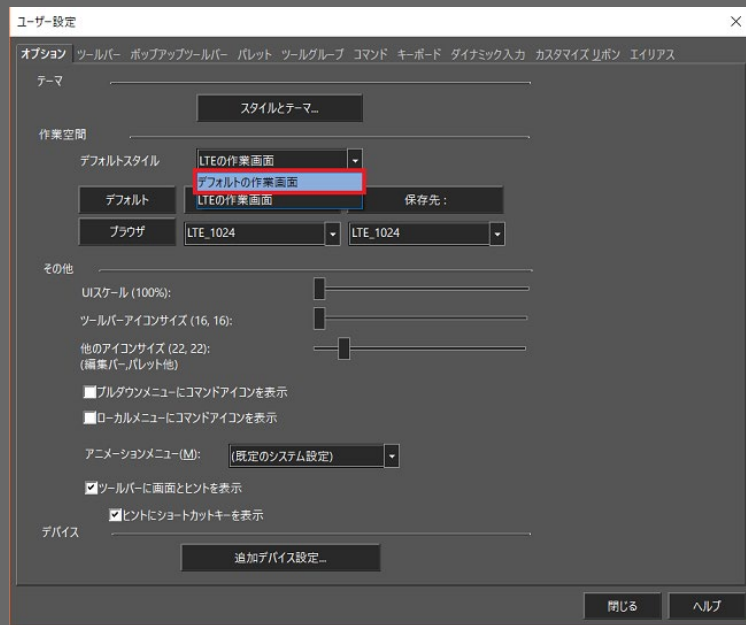
レイアウト画面で余白は「0」に設定されます。

8.5 「LTE作業平面」選択時に英語メニューになった場合

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM

「ユーザー設定」ダイアログで「LTE作業平面」を選択した場合、メニューが英語になります。
その場合の戻し方は以下の通りです。

1. 「ツール」メニュー → 「作業空間」 → 「カスタマイズ」をクリックします。
2. 「オプション」タブより、デフォルトスタイルでプルダウンより「デフォルトの作業画面」を選択します。



3. 「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じます。

8.6 DXF/DWGロード時のフォント

DXF/DWGをロードした際、全ての日本語フォントがMSゴシックになります。

DXF/DWGをロードの際にはご注意ください。

8.7 TurboCAD起動時「TurboCAD v26新規図面」ダイアログが表示されない場合

TurboCAD起動時や、新規作成の際に「TurboCAD v26新規図面」ダイアログが表示されない場合は、以下の手順を行ってください。



1. TurboCADを終了します。

2. 以下のフォルダを開きます。

⇒ C:¥Users¥(UserName)¥AppData¥Roaming¥IMSIDesign¥TurboCAD
v26¥(製品名)¥Profiles

(フォルダは隠れているのでキーボードの<Windows>キー+<R>キーを押し、「ファイル名を指定して実行」画面の名前に ” %APPDATA% ” を入力しキーを押します。)

3. ”Built-in” フォルダを右クリックしてローカルメニューから「名前の変更」を選び、異なる名前に変更します。

4. TurboCADを再起動します。

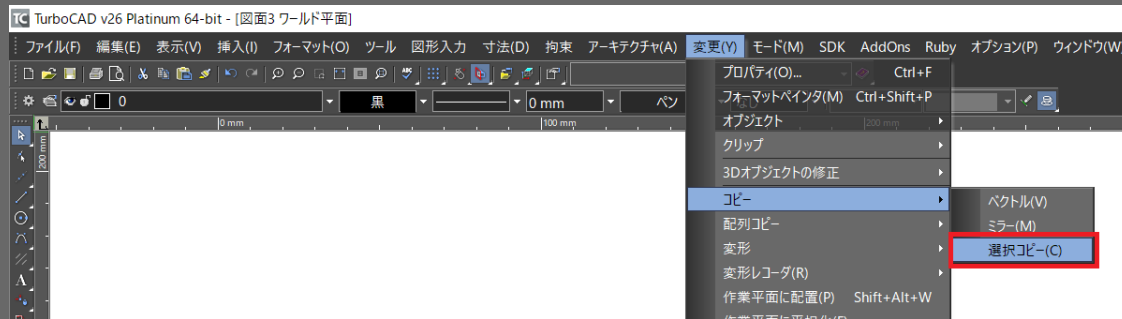
8.8 「選択コピー」メニュー読み替えのお願い

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE

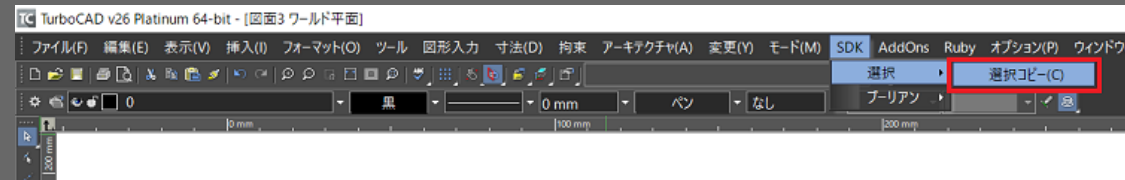
以下2つの「選択コピー」メニューは、「編集」→「同じ場所にコピー」と同じメニューになります。

「選択コピー」を「同じ場所にコピー」と読み替えをお願い致します。

● 「変更」→「コピー」→「選択コピー」



● 「SDK」→「選択」→「選択コピー」

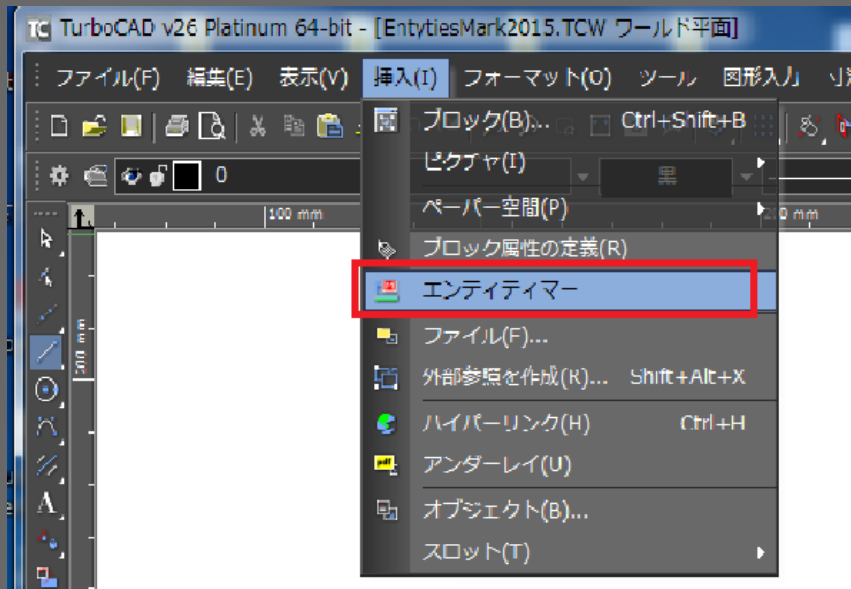


8.9 「エンティティマーク」メニュー 文字欠けについて

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM

「挿入」→「エンティティマー」メニューは文字が欠けています。

「エンティティマーク」と読み替えをお願い致します。



8.10 「点群三角測量」メニュー 読み替えのお願い

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM

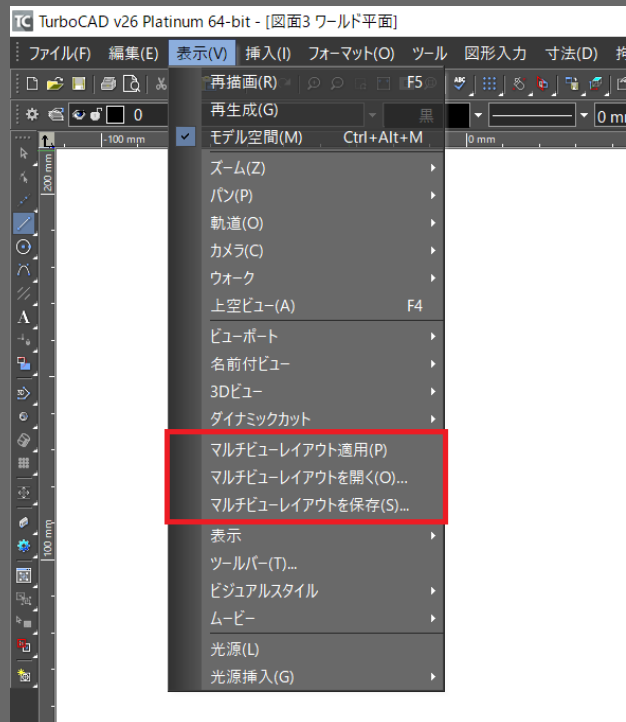
「ツール」→「点群」→「点群三角測量」メニューは「点群三角面作成」と読み替えをお願い致します。

8.11 「マルチビューレイアウト」メニュー 読み替えのお願い

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE

下図メニューは「ウィンドウ」→「レイアウトテンプレートを開く / 保存 / 適用」メニューと同じメニューになります。

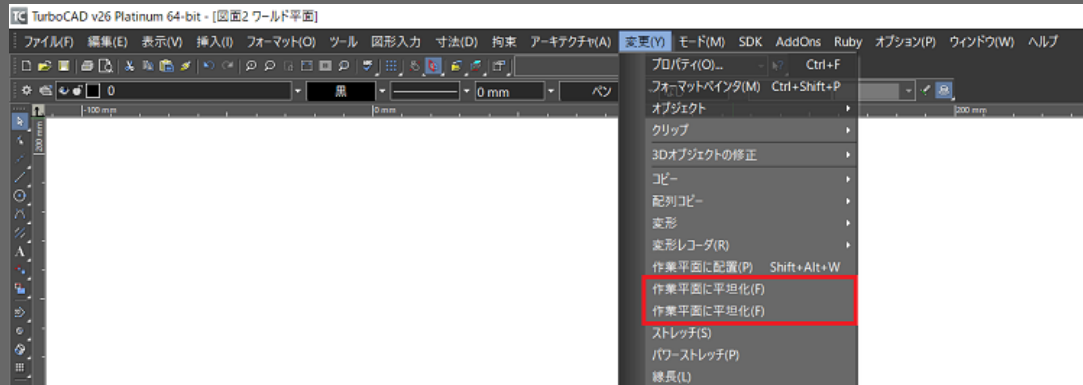
「マルチビューレイアウトを開く / 保存 / 適用」はそれぞれ「レイアウトテンプレートを開く / 保存 / 適用」と読み替えをお願い致します。



8.12 「作業平面に平坦化」メニューが2つ表示される

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE

「変更」→「作業平面に平坦化」が2つ表示されます。どちらも同じメニューです。



8.13 「スイープ」「ロフト」文字化けダイアログ 読み替えのお願い

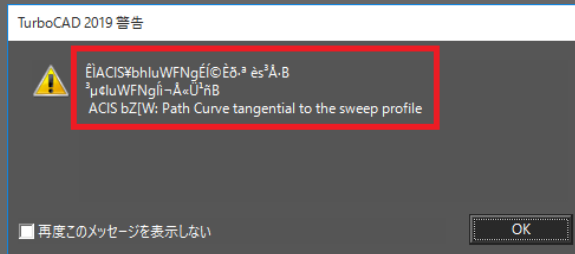
対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM

「スイープ」「ロフト」のメニュー実行時、自己交差を起こすような形状を作成した際に表示するダイアログが文字化けしています。

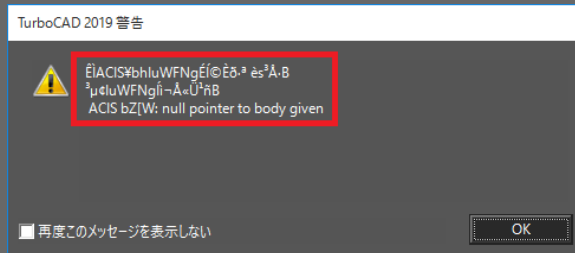
それぞれ以下の通り読み替えをお願いいたします。

結果のACISソリッドオブジェクトには自己交差があり不正です。
正しいオブジェクトは作成できません

● 「図形入力」→「3Dオブジェクト」→「3Dプロファイル参照」→「スイープ」



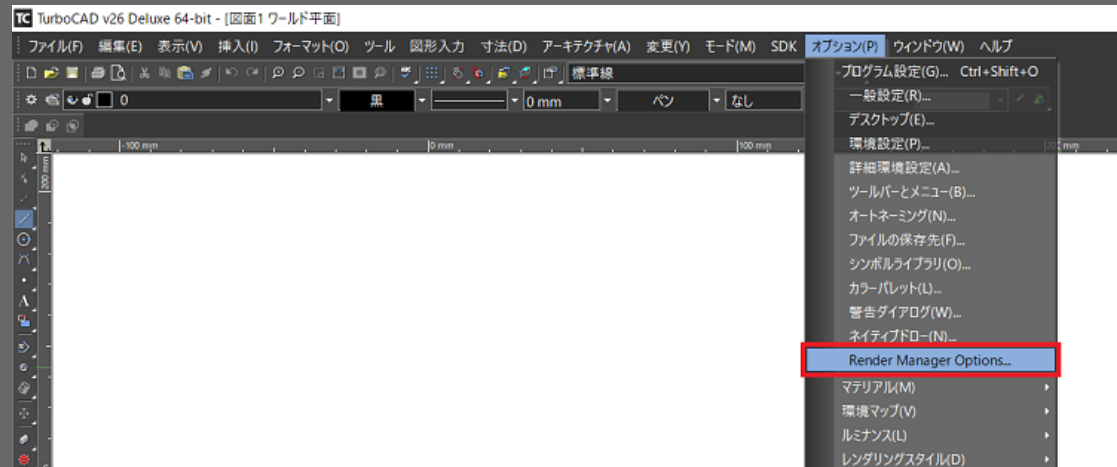
● 「図形入力」→「3Dオブジェクト」→「3Dプロファイル参照」→「ロフト」



8.14 「Render Manager Options」メニュー 読み替えのお願い

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 DELUXE

「オプション」→「Render Manager Options」メニューは「レンダーマネージャー」と読み替えをお願いいたします。



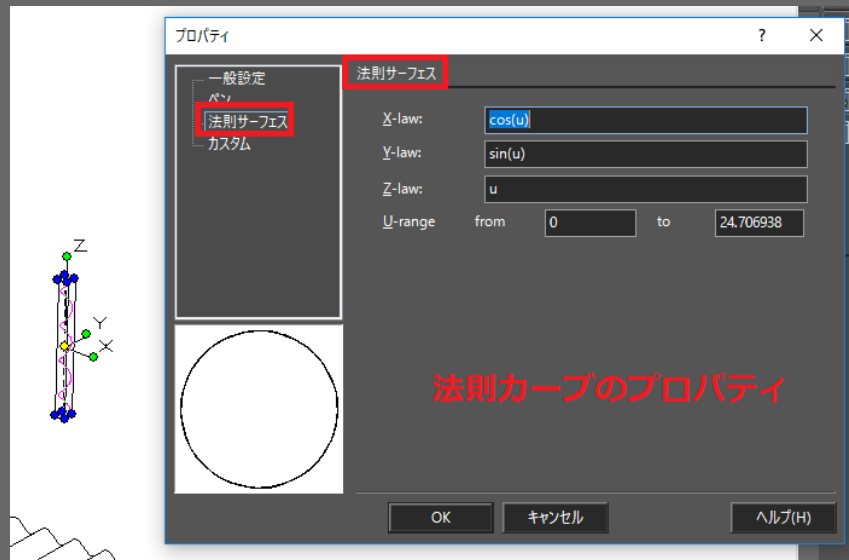
8.15 「法則カーブ」「法則サーフェス」プロパティ 読み替えのお願い

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM

「図形入力」→「3Dオブジェクト」→「3D法則オブジェクト」→「法則カーブ/法則サーフェス」で作成したそれぞれのオブジェクトのプロパティ画面で、カーブとサーフェスの文言が反対になっています。

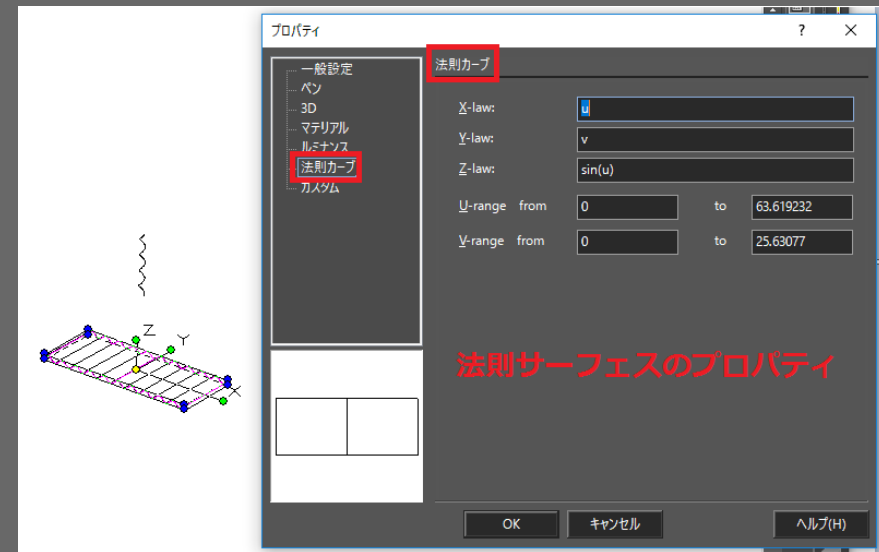
それぞれ読み替えをお願いいたします。

- 「図形入力」→「3Dオブジェクト」→「3D法則オブジェクト」→「法則カーブ」で作成した法則カーブのプロパティ画面



「法則サーフェス」を「法則カーブ」と読み替えてください。

- 「図形入力」→「3Dオブジェクト」→「3D法則オブジェクト」→「法則サーフェス」で作成した法則サーフェスのプロパティ画面

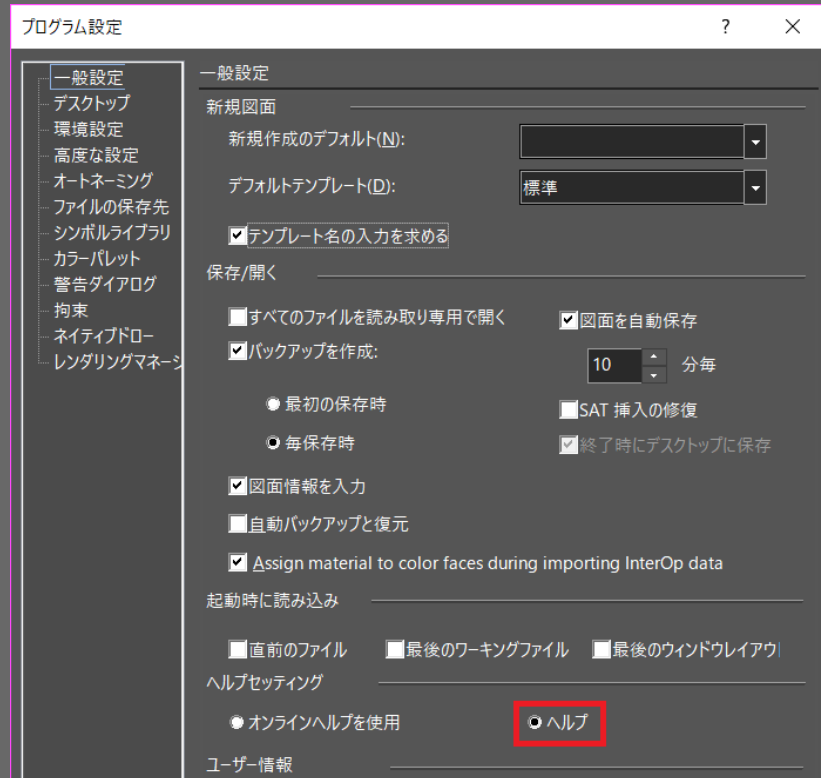


「法則カーブ」を「法則サーフェス」と読み替えてください。

8.16 TurboCADヘルプ起動時に英語ヘルプに接続される場合

「ヘルプ」→「TurboCADヘルプ」を選択した際、英語版ヘルプ(外部サイト)が起動する場合は、以下の手順を行ってください。

1. 「オプション」→「一般設定」をクリックします。
2. ヘルプセッティングの「ヘルプ」をONにします。

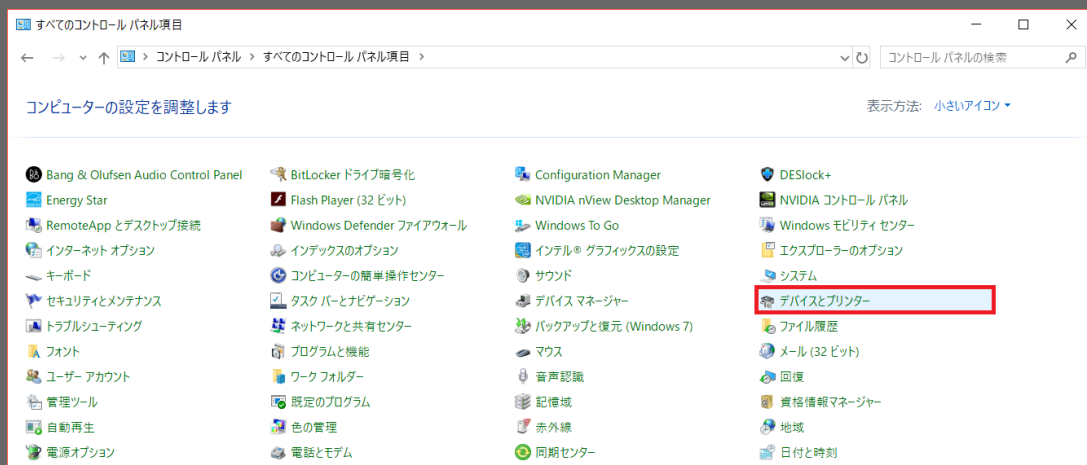


8.17 印刷関連ツールを使用すると「未処理の異常!!!」で終了する場合

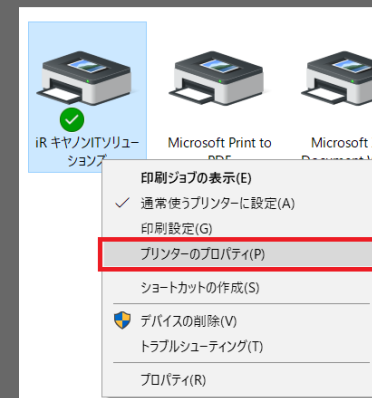
対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE
TurboCAD v26 DESIGNER

ページ設定 / 印刷プレビュー / プリントキュー など、印刷関連ツールを使用する時に「未処理の異常!!!」が発生する場合、以下の手順を行ってください。

1. Windowsコントロールパネルから「デバイスとプリンター」を選択します。

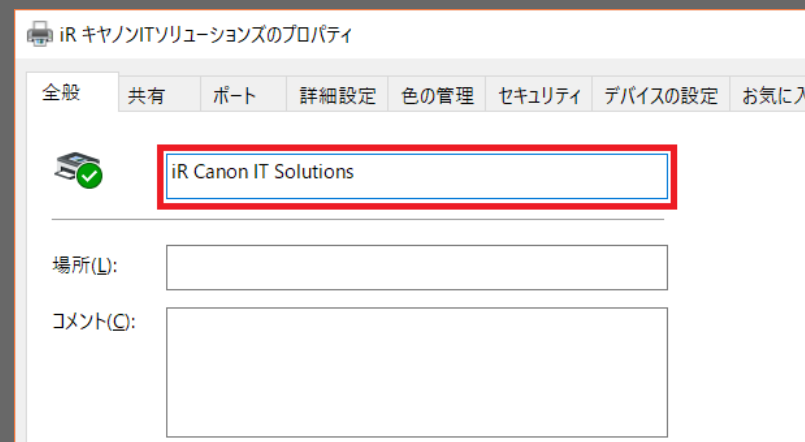


2. 通常使うプリンタに設定されている該当のプリンターを右クリックし「プリンターのプロパティ」を選択します。



3. プリンター名から日本語(2バイト文字)を削除するか、もしくは日本語の文字がない名前に変更します。

(例) × 「iR キヤノンITソリューションズ」 ⇒ ○ 「iR Canon IT Solutions」

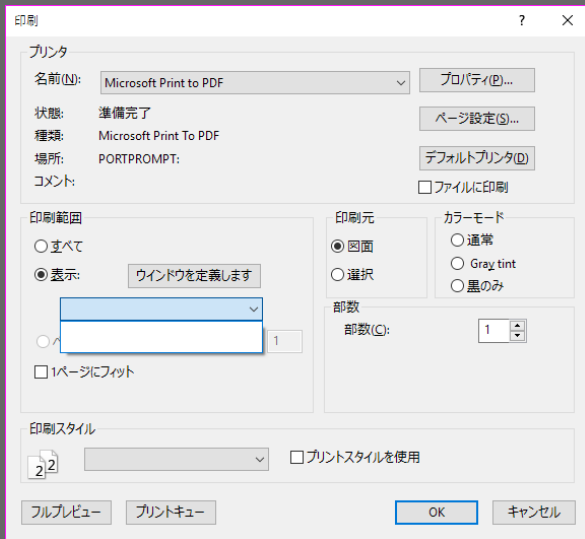


4. 「OK」をクリックしてプロパティ画面を閉じます。

8.18 「印刷」ダイアログの表示全体がグレーになる場合 (1/2)

対象製品/バージョン : TurboCAD v26 PLATINUM
TurboCAD v26 DELUXE
TurboCAD v26 DESIGNER

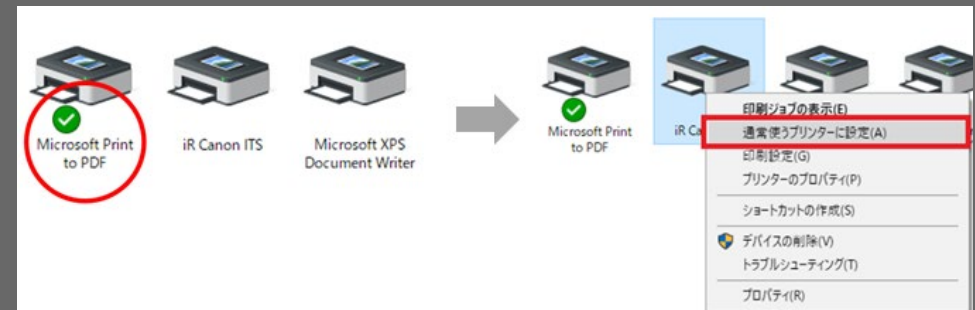
「ファイル」→「印刷」にて、上図のようにダイアログ全体がグレー表示となり選択項目が空になる等の現象が起きる場合、以下の手順を行ってください。



1. Windowsコントロールパネルから「デバイスとプリンター」を選択します。



2. 「Microsoft Print to PDF」が通常使うプリンターに設定されている場合、他のプリンターを右クリックし「通常使うプリンターに設定」を選択します。



3. TurboCADで図面を開きます。

4. 「ファイル」→「印刷」を選択します。

8.18 「印刷」ダイアログの表示全体がグレーになる場合 (2/2)

5. 「名前」の一覧より「Microsoft Print to PDF」を選択し、印刷を実行してください。

